

LV 5800A / LV 5800

マルチモニター

取扱説明書
(イーサーネット編)

目次

1.	はじめに.....	1
1.1	ネットワークについて.....	1
1.2	商標について.....	1
2.	イーサネット.....	2
2.1	TELNET によるリモートコントロール.....	2
2.2	FTP によるファイル転送.....	3
2.3	コマンドの入力方法.....	4
2.4	TELNET コマンド.....	5
2.4.1	LV 5800 (A) のコマンド (MULTI MONITOR).....	5
2.4.2	LV 58SER01A のコマンド (SDI INPUT).....	9
2.4.3	LV 58SER02 のコマンド (EYE PATTERN unit).....	27
2.4.4	LV 58SER03 のコマンド (COMPOSITE VIDEO INPUT).....	33
2.4.5	LV 58SER04 のコマンド (MPEG DECODER).....	39
2.4.6	LV 58SER40A のコマンド (DIGITAL AUDIO).....	48
2.5	FTP コマンド.....	59
3.	SNMP.....	60
3.1	概要.....	60
3.2	SNMP 対応バージョン.....	60
3.3	セットアップ.....	60
3.3.1	SNMP マネージャの設定.....	60
3.3.2	本体の設定.....	61
3.4	MIB.....	62
3.4.1	標準 MIB.....	62
3.4.2	拡張 MIB.....	67
3.5	拡張 TRAP.....	96
3.5.1	SNMP マネージャの設定.....	96
3.5.2	Specific Trap.....	97
3.5.3	Variable Binding List.....	98
4.	ファームウェアの変更履歴.....	100

索引

1. はじめに

本書は、LV 5800 (A) のイーサーネットコントロールについて説明したものです。その他の説明や注意事項については、LV 5800 (A) の取扱説明書(本編)を参照してください。

1.1 ネットワークについて

イーサーネットインタフェースによる本器のリモートコントロールは、ローカルネットワーク環境のみの動作確認をしています。いかなるネットワーク環境での動作を保証するものではありません。

1.2 商標について

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Dolby およびドルビーは、ドルビーラボラトリーズの商標です。

2. イーサーネット

イーサーネット端子を介して、ネットワークに接続されたコンピュータ等からコマンドを本器に送信することで、前面パネルのキー操作とほぼ同じ設定をすることができます。

また、本器が検出した各種データをネットワークに接続されたコンピュータ等に転送することもできます。

イーサーネットに関する本体の設定(※1)は、LV 5800(A)の取扱説明書(本編)をご覧ください。

※1 本器の IP アドレスの設定は、SYS キーを押したときに表示されるシステムメニューから F・2 PLATFORM SETUP を押して、ETHERNET の設定で行います。

2.1 TELNETによるリモートコントロール

ネットワークに接続されたコンピュータ等で本器をリモートコントロールする場合は TELNET(※1)を使用します。TELNET の起動(※2)に関しては、お使いのコンピュータ等の取扱説明書をご覧ください。

なお、本器でログイン名とパスワードを変更することはできません。

TELNET を起動すると、「login:」と表示されます。「LV5800」と入力して、Enter キーを押してください。

```
LV5800 login: LV5800
```

「Password:」と表示されます。「LV5800」と入力して、Enter キーを押してください。このとき、入力文字は実際に表示されません。

```
LV5800 login: LV5800
Password: LV5800
```

「LV5800>」と表示されます。

```
LV5800 login: LV5800
Password: LV5800
LV5800>
```

※1 TELNET リモートのフロー制御について :

LV 5800(A)を TELNET によりリモートする場合は TELNET のフロー制御を有効にしてください。フロー制御に対応しない場合は、コマンドの高速転送時に LV 5800(A)が正しく動作しない場合があります。

やむをえずフロー制御を行えない場合は、コマンドの転送に 1 秒程度の間隔をあけるか、「2.4.1 LV 5800(A)のコマンド (MULTI MONITOR)」の「REMOTE:REPLY」コマンドで戻り値を有効にし、ソフトウェア上でハンドシェイクを行ってください。

※2 Windows 7 での TELNET の起動例 :

スタートメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。

「TELNET」に続けてスペースを入れて本器の IP アドレスを入力し、OK を押します。

(TELNET を使用するには、「コントロール パネル」→「プログラムと機能」→「Windows の機能の有効化または無効化」→「Telnet クライアント」をオンにする必要があります)

2.2 FTPによるファイル転送

本器からネットワークに接続されたコンピュータ等へファイルを転送する場合は、FTP を使用します。FTP の起動(※1)に関しては、お使いのコンピュータ等の取扱説明書をご覧ください。なお、本器でユーザー名とパスワードを変更することはできません。

FTP を起動すると、「User:」と表示されます。「LV5800」と入力して、Enter キーを押してください。

```
Connected to xxx.xxx.xxx.xxx
220 FTP Server ready
User (xxx.xxx.xxx.xxx: (none)): LV5800
```

「Password:」と表示されます。「LV5800」と入力して、Enter キーを押してください。このとき、入力文字は実際に表示されません。

```
Connected to xxx.xxx.xxx.xxx
220 FTP Server ready
User (xxx.xxx.xxx.xxx: (none)): LV5800
331 Password required
Password: LV5800
```

「ftp>」と表示されます。

```
Connected to xxx.xxx.xxx.xxx
220 FTP Server ready
User (xxx.xxx.xxx.xxx: (none)): LV5800
331 Password required
Password: LV5800
230 Logged in
ftp>
```

※1 Windows 7 での FTP の起動例：

スタートメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。

「FTP」に続けてスペースを入れて IP アドレスを入力し、OK を押します。

2.3 コマンドの入力方法

イーサーネットによるコマンド体系は、メニュー構成に準じています。本体またはユニットの取扱説明書と併せてご覧ください。

● コマンドの入力方法

コマンドの入力方法を下記に示します。コマンドと各パラメータ間には半角スペースを入れてください。パラメータは、なし/1つ/2つ、のいずれかになります。

[コマンド] + [半角スペース] + [パラメータ 1] + [半角スペース] + [パラメータ 2]

- ※ コマンドは大文字、小文字のどちらでも使用できます。
- ※ [SYS:UNIT:]で始まるコマンドは、ユニット番号を指定する必要があります。[パラメータ 1]にユニット番号(1~6)を入力してください。あるユニット番号(n)にどのユニットが装着されているかは、[SYS:UNITn_INFO]コマンドで確認します。
- ※ [WFM]、[VECT]、[PIC]、[AUDIO]、[STATUS]、[EYE]で始まる測定表示用のコマンドは、[DISPLAY]コマンドで指定されているディスプレイに対してのみ有効です。また、現在表示されている測定表示と違うモードのコマンドを入力しても、動作には反映されません。

● コマンドの入力例

コマンドの入力例を下記に示します。

- パラメータがなしのとき
STATUS:RESET [Enter]
(ステータス画面のエラーをリセットします)
- パラメータが1つのとき
WFM:GAIN:MAG X5 [Enter]
(ビデオ信号波形のゲインを5倍に設定します)
- パラメータが2つのとき
SYS:UNIT:LINKFORMAT 1 SINGLE [Enter]
(ユニット1にあるSDI Inputのリンクフォーマットをシングルに設定します)

2.4 TELNETコマンド

2.4.1 LV 5800(A)のコマンド (MULTI MONITOR)

● 前面パネル

LV 5800(A) (MULTI MONITOR)

コマンド	パラメータ 1	説明
DISPLAY	1	第 1 エリアを選択
	2	第 2 エリアを選択
	3	第 3 エリアを選択
	4	第 4 エリアを選択
	?	選択エリアの問い合わせ
MULTI	ON	マルチ画面表示を選択
	OFF	1 画面表示を選択
	?	マルチ画面表示の問い合わせ
INPUT:UNIT	UNIT1	ユニット 1 を選択
	UNIT2	ユニット 2 を選択
	UNIT3	ユニット 3 を選択
	UNIT4	ユニット 4 を選択
	?	選択ユニットの問い合わせ
INPUT:CH	A	A チャンネルを選択
	B	B チャンネルを選択
	?	入力チャンネルの問い合わせ
MODE	WFM	ビデオ信号波形表示を選択
	VECT	ベクトル波形表示を選択
	PIC	ピクチャー表示を選択
	AUDIO	オーディオ表示を選択
	STATUS	ステータス表示を選択
	EYE	アイパターン表示を選択
	?	測定モードの問い合わせ
EXT	INT	内部同期信号を選択
	EXT	外部同期信号を選択
	?	同期信号の問い合わせ
RCLL	1~60	プリセットメモリの呼び出し
MAKE	CAPTURE	表示画面を本体内部に取り込み

● PLATFORM SETUP (GENERAL SETUP)

LV 5800 (A) (MULTI MONITOR)

コマンド	パラメータ 1	説明
SYS:PLATFORM:SOURCE_MODE	SINGLE	1 入力モードに設定
	MULTI	マルチ入力モード(ラインセレクト連動なし)に設定
	MULTI_LINE	マルチ入力モード(ラインセレクト連動あり)に設定
	?	入力モードの問い合わせ
SYS:PLATFORM:DISPLAY:MULTI_MODE	2MULTI	マルチ画面を選択時、2 画面表示にする
	4MULTI	マルチ画面を選択時、4 画面表示にする
	?	マルチ画面表示の問い合わせ
SYS:PLATFORM:WINDOW_MARKER	OFF	選択したウィンドウの枠の色を無色に設定
	BLUE	選択したウィンドウの枠の色を青色に設定
	WHITE	選択したウィンドウの枠の色を白色に設定
	?	選択したウィンドウの枠の色を問い合わせ
SYS:PLATFORM:CAPTURE_MODE	SCREEN	キャプチャモードをスクリーンキャプチャに設定
	VIDEO_FRAME	キャプチャモードをフレームキャプチャに設定
	?	キャプチャモードの問い合わせ
SYS:PLATFORM:DISPLAY:INFO:FORMAT	ON	フォーマットを表示
	OFF	フォーマットを非表示
	?	フォーマット表示の有無を問い合わせ
SYS:PLATFORM:DISPLAY:INFO:DATE	OFF	日付を非表示
	YMD	年月日の順で日付を表示
	MDY	月日年の順で日付を表示
	DMY	日月年の順で日付を表示
	?	日付表示の有無と表示タイプを問い合わせ
SYS:PLATFORM:DISPLAY:INFO:TIME	ON	時間を表示
	OFF	時間を非表示
	?	時間表示の有無を問い合わせ
SYS:PLATFORM:DISPLAY:INFO:COLOR	ON	カラーシステムを表示
	OFF	カラーシステムを非表示
	?	カラーシステム表示の有無を問い合わせ
SYS:PLATFORM:DISPLAY:INFO:INPUT	ON	入力ユニット番号と入力チャンネルを表示
	OFF	入力ユニット番号と入力チャンネルを非表示
	?	入力ユニット番号と入力チャンネル表示の有無を問い合わせ
SYS:PLATFORM:DISPLAY:BACKLIGHT	HIGH	バックライトを明るく設定
	LOW	バックライトを暗く設定
	?	バックライトの明るさを問い合わせ
SYS:PLATFORM:DISPLAY:AUTO_OFF	OFF	バックライトは常に点灯
	5MIN	最後のキー操作から 5 分後にバックライトを消灯
	30MIN	最後のキー操作から 30 分後にバックライトを消灯
	60MIN	最後のキー操作から 60 分後にバックライトを消灯
	?	バックライトの自動消灯の有無と消灯時間を問い合わせ。

● PLATFORM SETUP (REMOTE)

LV 5800 (A) (MULTI MONITOR)

コマンド	パラメータ 1	説明
SYS:PLATFORM:REMOTE_MODE	BIT	ビットで No. 1~8 のプリセットを呼び出し
	BINARY	バイナリーで No. 1~60 のプリセットを呼び出し
	?	リモートモードの問い合わせ
SYS:PLATFORM:ALARM:POLARITY	POSITIVE	エラー検出時、HIGH を出力
	NEGATIVE	エラー検出時、LOW を出力
	?	エラー検出時の出力極性を問い合わせ
SYS:PLATFORM:ALARM1:UNIT	UNIT1	ユニット 1 のエラーを ALARM1 に出力
	UNIT2	ユニット 2 のエラーを ALARM1 に出力
	UNIT3	ユニット 3 のエラーを ALARM1 に出力
	UNIT4	ユニット 4 のエラーを ALARM1 に出力
	ALL	ユニット 1~4 のエラーを ALARM1 に出力
	?	ALARM1 にエラー出力するユニットの問い合わせ
SYS:PLATFORM:ALARM2:UNIT	UNIT1	ユニット 1 のエラーを ALARM2 に出力
	UNIT2	ユニット 2 のエラーを ALARM2 に出力
	UNIT3	ユニット 3 のエラーを ALARM2 に出力
	UNIT4	ユニット 4 のエラーを ALARM2 に出力
	ALL	ユニット 1~4 のエラーを ALARM2 に出力
	?	ALARM2 にエラー出力するユニットの問い合わせ
SYS:PLATFORM:ALARM3:UNIT	UNIT1	ユニット 1 のエラーを ALARM3 に出力
	UNIT2	ユニット 2 のエラーを ALARM3 に出力
	UNIT3	ユニット 3 のエラーを ALARM3 に出力
	UNIT4	ユニット 4 のエラーを ALARM3 に出力
	ALL	ユニット 1~4 のエラーを ALARM3 に出力
	?	ALARM3 にエラー出力するユニットの問い合わせ
SYS:PLATFORM:ALARM4:UNIT	UNIT1	ユニット 1 のエラーを ALARM4 に出力
	UNIT2	ユニット 2 のエラーを ALARM4 に出力
	UNIT3	ユニット 3 のエラーを ALARM4 に出力
	UNIT4	ユニット 4 のエラーを ALARM4 に出力
	ALL	ユニット 1~4 のエラーを ALARM4 に出力
	?	ALARM4 にエラー出力するユニットの問い合わせ
SYS:PLATFORM:ALARM1:CH	A	A チャンネルのエラーを ALARM1 に出力
	B	B チャンネルのエラーを ALARM1 に出力
	A/B	A チャンネルと B チャンネルのエラーを ALARM1 に出力
	?	ALARM1 にエラー出力するチャンネルの問い合わせ
SYS:PLATFORM:ALARM2:CH	A	A チャンネルのエラーを ALARM2 に出力
	B	B チャンネルのエラーを ALARM2 に出力
	A/B	A チャンネルと B チャンネルのエラーを ALARM2 に出力
	?	ALARM2 にエラー出力するチャンネルの問い合わせ
SYS:PLATFORM:ALARM3:CH	A	A チャンネルのエラーを ALARM3 に出力
	B	B チャンネルのエラーを ALARM3 に出力
	A/B	A チャンネルと B チャンネルのエラーを ALARM3 に出力
	?	ALARM3 にエラー出力するチャンネルの問い合わせ

2. イーサーネット

コマンド	パラメータ 1	説明
SYS:PLATFORM:ALARM4:CH	A	AチャンネルのエラーをALARM4に出力
	B	BチャンネルのエラーをALARM4に出力
	A/B	AチャンネルとBチャンネルのエラーをALARM4に出力
	?	ALARM4にエラー出力するチャンネルの問い合わせ
SYS:PLATFORM:ERROR_BEEP	ENABLE	エラー検出時にBEEP音を鳴らす
	DISABLE	エラー検出時にBEEP音を鳴らさない
	?	エラー検出時のBEEP音を鳴らすかどうか問い合わせ

● DATE&TIME LV 5800 (A) (MULTI MONITOR)

コマンド	パラメータ 1	説明
SYS:DATE	YYYY/MM/DD, hh:mm:ss	日時を設定
	?	日時の問い合わせ

● SYSTEM INFORMATION LV 5800 (A) (MULTI MONITOR)

コマンド	パラメータ 1	説明
SYS:UNIT1_INFO	-	ユニット1の種別を問い合わせ
SYS:UNIT2_INFO	-	ユニット2の種別を問い合わせ
SYS:UNIT3_INFO	-	ユニット3の種別を問い合わせ
SYS:UNIT4_INFO	-	ユニット4の種別を問い合わせ
SYS:UNIT5_INFO	-	ユニット5の種別を問い合わせ
SYS:UNIT6_INFO	-	ユニット6の種別を問い合わせ

● LCD OFF LV 5800 (A) (MULTI MONITOR)

コマンド	パラメータ 1	説明
SYS:LCD_OFF	-	LCDを消灯

● INITIALIZE LV 5800 (A) (MULTI MONITOR)

コマンド	パラメータ 1	説明
SYS:INIT	-	本器を初期化

● その他 LV 5800 (A) (MULTI MONITOR)

コマンド	パラメータ 1	説明
REMOTE:HELP	-	コマンド一覧を表示
REMOTE:REPLY (※1)	ON	コマンドに対して応答あり
	OFF	コマンドに対して応答なし(初期設定)

※1 REMOTE:REPLY ONの戻り値について:

LV 5800 (A)が出荷状態(REMOTE:REPLY = OFF)の場合は、TELNETリモート時にLV 5700との互換のため「?」パラメータによる問い合わせ以外はパラメータにエラーがあっても何も戻り値はありません。

REMOTE:REPLY コマンドのパラメータを「ON」に設定すると、下記のとおり戻り値が帰るようになります。

OK: コマンドが正しく処理された場合

ERR1: パラメータの数が合っていない場合

ERR2: パラメータの値が範囲外の場合

ERR3: 現在の状態では機能が有効でない場合

上記以外でもコマンドそのものが間違っている場合は、下記のとおり文字列が戻ります。

2. イーサーネット

-rbash:間違ったコマンド:command not found

2.4.2 LV 58SER01Aのコマンド (SDI INPUT)

● UNIT SETUP (GENERAL SETUP)

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	パラメータ 2	説明
SYS:UNIT:LINK_FORMAT	1, 2, 3, 4 (※1)	SINGLE	リンクフォーマットをシングルリンクに設定
		DUAL	リンクフォーマットをデュアルリンクに設定
		2K	リンクフォーマットをデュアルリンクの 2048×1080 (2K) に設定
		?	リンクフォーマットの問い合わせ
SYS:UNIT:MANUAL_SELECT	1, 2, 3, 4	AUTO	シングルリンク時のフォーマットを自動で設定
		MANUAL	シングルリンク時のフォーマットを手動で設定
		?	シングルリンク時のフォーマットを問い合わせ
SYS:UNIT:MANUAL_FORMAT	1, 2, 3, 4	1080I/60	シングルリンク時のフォーマットを 1080i/60 に設定
		1080I/59.94	シングルリンク時のフォーマットを 1080i/59.94 に設定
		1080I/50	シングルリンク時のフォーマットを 1080i/50 に設定
		1080SF/30	シングルリンク時のフォーマットを 1080PsF/30 に設定
		1080SF/29.97	シングルリンク時のフォーマットを 1080PsF/29.97 に設定
		1080SF/25	シングルリンク時のフォーマットを 1080PsF/25 に設定
		1080SF/24	シングルリンク時のフォーマットを 1080PsF/24 に設定
		1080SF/23.98	シングルリンク時のフォーマットを 1080PsF/23.98 に設定
		1080P/30	シングルリンク時のフォーマットを 1080p/30 に設定
		1080P/29.97	シングルリンク時のフォーマットを 1080p/29.97 に設定
		1080P/25	シングルリンク時のフォーマットを 1080p/25 に設定
		1080P/24	シングルリンク時のフォーマットを 1080PsF/24 に設定
		1080P/23.98	シングルリンク時のフォーマットを 1080PsF/23.98 に設定

※1 LV 58SER01A が装着されているユニット番号を入力してください。

2. イーサーネット

コマンド	パラメータ 1	パラメータ 2	説明
SYS:UNIT:MANUAL_FORMAT	1, 2, 3, 4	720P/60	シングルリンク時のフォーマットを 720p/60 に設定
		720P/59.94	シングルリンク時のフォーマットを 720p/59.94 に設定
		720P/50	シングルリンク時のフォーマットを 720p/50 に設定
		720P/30	シングルリンク時のフォーマットを 720p/30 に設定
		720P/29.97	シングルリンク時のフォーマットを 720p/29.97 に設定
		720P/25	シングルリンク時のフォーマットを 720p/25 に設定
		720P/24	シングルリンク時のフォーマットを 720p/24 に設定
		720P/23.98	シングルリンク時のフォーマットを 720p/23.98 に設定
		525I/59.94	シングルリンク時のフォーマットを 525i/59.94 に設定
		625I/50	シングルリンク時のフォーマットを 625i/50 に設定
SYS:UNIT:I_PSF	1, 2, 3, 4	INTERLACE	シングルリンク時のフォーマット表示形式をインタレースに設定
		SEG. FRAM	シングルリンク時のフォーマット表示形式をセグメントフレームに設定
		?	シングルリンク時のフォーマット表示形式を問い合わせ
SYS:UNIT:DUAL:SYSTEM	1, 2, 3, 4	GBR_444	デュアルリンク時のカラーシステムを GBR(4:4:4) に設定
		YCBCR_422	デュアルリンク時のカラーシステムを YCbCr(4:2:2) に設定
		?	デュアルリンク時のカラーシステムを問い合わせ
SYS:UNIT:DUAL:DEPTH	1, 2, 3, 4	10B	デュアルリンク時の 1 画素あたりの量子化ビット数を 10bit に設定
		12B	デュアルリンク時の 1 画素あたりの量子化ビット数を 12bit に設定
		?	デュアルリンク時の 1 画素あたりの量子化ビット数を問い合わせ

2. イーサーネット

コマンド	パラメータ 1	パラメータ 2	説明
SYS:UNIT:DUAL:SCAN	1, 2, 3, 4	1080I	デュアルリンク時の走査方式をインタレースに設定
		1080PSF	デュアルリンク時の走査方式をセグメントフレームに設定
		1080P	デュアルリンク時の走査方式をプログレッシブに設定
		?	デュアルリンク時の走査方式を問い合わせ
SYS:UNIT:INFO:TIME_CODE	1, 2, 3, 4	REAL	時刻表示に本体内部の時計機能を使用
		LTC	時刻表示に LTC(タイムコード)を使用
		VITC	時刻表示に VITC(タイムコード)を使用
		D_VITC	時刻表示に D-VITC(タイムコード)を使用
		?	時刻表示に使用している方法を問い合わせ
SYS:UNIT:SELECT_OUTPUT	1, 2, 3, 4	A	シングルリンク時、OUTPUT SDI A/B は A チャンネルのリクロック出力
		A/B	シングルリンク時、OUTPUT SDI A/B はアクティブチャンネルのリクロック出力
		?	シングルリンク時、OUTPUT SDI A/B の設定を問い合わせ

● UNIT SETUP (ERROR SETUP1)

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	パラメータ 2	説明
SYS:UNIT:ERROR:TRS	1, 2, 3, 4	ON	TRS エラーを検出する
		OFF	TRS エラーを検出しない
		?	TRS エラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:HD_LINE	1, 2, 3, 4	ON	ラインナンバーエラーを検出する
		OFF	ラインナンバーエラーを検出しない
		?	ラインナンバーエラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:HD_CRC	1, 2, 3, 4	ON	CRC エラーを検出する
		OFF	CRC エラーを検出しない
		?	CRC エラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:SD_EDH	1, 2, 3, 4	ON	EDH エラーを検出する
		OFF	EDH エラーを検出しない
		?	EDH エラー検出の有無を問い合わせ

2. イーサーネット

コマンド	パラメータ 1	パラメータ 2	説明
SYS:UNIT:ERROR:ILLEGAL_CODE	1, 2, 3, 4	ON	イリーガルコードエラーを検出する
		OFF	イリーガルコードエラーを検出しない
		?	イリーガルコードエラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:CABLE	1, 2, 3, 4	ON	ケーブルエラーを検出する
		OFF	ケーブルエラーを検出しない
		?	ケーブルエラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:HD_CABLE	1, 2, 3, 4	LS_5CFB	HD-SDI 入力時のケーブルを LS_5CFB に設定
		1694A	HD-SDI 入力時のケーブルを 1694A に設定
		L_7CHD	HD-SDI 入力時のケーブルを L_7CHD に設定
		?	HD-SDI 入力時のケーブル種を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:HD_LENGTH	1, 2, 3, 4	5~200	HD-SDI 入力時、エラーとするケーブル長を設定 (m)
		?	HD-SDI 入力時、エラーとするケーブル長を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:HD_WARN	1, 2, 3, 4	5~200	HD-SDI 入力時、警告とするケーブル長を設定 (m)
		?	HD-SDI 入力時、警告とするケーブル長を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:SD_CABLE	1, 2, 3, 4	L_5C2V	SD-SDI 入力時のケーブルを L_5C2V に設定
		8281?	SD-SDI 入力時のケーブルを 8281 に設定
		1505A	SD-SDI 入力時のケーブルを 1505A に設定
		?	SD-SDI 入力時のケーブル種を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:SD_LENGTH	1, 2, 3, 4	50~300	SD-SDI 入力時、エラーとなるケーブル長を設定 (m)
		?	SD-SDI 入力時、エラーとなるケーブル長を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:SD_WARN	1, 2, 3, 4	50~300	SD-SDI 入力時、警告となるケーブル長を設定 (m)
		?	SD-SDI 入力時、警告となるケーブル長を問い合わせ

● UNIT SETUP (ERROR SETUP2)

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	パラメータ 2	説明
SYS:UNIT:ERROR:ANC:PARITY	1, 2, 3, 4	ON	ANC データのパリティエラーを検出する
		OFF	ANC データのパリティエラーを検出しない
		?	ANC データのパリティエラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:ANC:CHECKSUM	1, 2, 3, 4	ON	ANC データのチェックサムエラーを検出する
		OFF	ANC データのチェックサムエラーを検出しない
		?	ANC データのチェックサムエラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:AUDIO:BCH	1, 2, 3, 4	ON	エンベデッドオーディオの BCH エラーを検出する
		OFF	エンベデッドオーディオの BCH エラーを検出しない
		?	エンベデッドオーディオの BCH エラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:AUDIO:DBN	1, 2, 3, 4	ON	エンベデッドオーディオの DBN エラーを検出する
		OFF	エンベデッドオーディオの DBN エラーを検出しない
		?	エンベデッドオーディオの DBN エラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:AUDIO:PARITY	1, 2, 3, 4	ON	エンベデッドオーディオのパリティエラーを検出する
		OFF	エンベデッドオーディオのパリティエラーを検出しない
		?	エンベデッドオーディオのパリティエラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:AUDIO:INHIBIT	1, 2, 3, 4	ON	エンベデッドオーディオのインヒビットエラーを検出する
		OFF	エンベデッドオーディオのインヒビットエラーを検出しない
		?	エンベデッドオーディオのインヒビットエラー検出の有無を問い合わせ

● UNIT SETUP (ERROR SETUP3)

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	パラメータ 2	説明
SYS:UNIT:ERROR:GAMUT:LPF	1, 2, 3, 4	HD1M_SD1M	ガンマットエラー検出用のLPFを1MHzに設定
		HD2.8M_SD1M	ガンマットエラー検出用のLPFをHD-SDIのとき2.8MHz、SD-SDIのとき1MHzに設定
		OFF	ガンマットエラー検出用のLPFをオフに設定
		?	ガンマットエラー検出用LPFの設定を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:GAMUT	1, 2, 3, 4	ON	ガンマットエラーを検出する
		OFF	ガンマットエラーを検出しない
		?	ガンマットエラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:GAMUT:UPPER	1, 2, 3, 4	90.8~109.4	ガンマットエラーの上限値を設定(%)
		?	ガンマットエラーの上限値を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:GAMUT:LOWER	1, 2, 3, 4	-7.2~6.1	ガンマットエラーの下限値を設定(%)
		?	ガンマットエラーの下限値を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:GAMUT:AREA	1, 2, 3, 4	0.1~5.0	ガンマットエラー検出のための面積比を設定(%)
		?	ガンマットエラー検出のための面積比を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:GAMUT:DURATION	1, 2, 3, 4	1~60	ガンマットエラーの検出期間を設定(Frames)
		?	ガンマットエラーの検出期間を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:C_GAMUT	1, 2, 3, 4	ON	コンポジットガンマットエラーを検出する
		OFF	コンポジットガンマットエラーを検出しない
		?	コンポジットガンマットエラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:C_GAMUT:SETUP	1, 2, 3, 4	0P	コンポジット換算の際のセットアップをなしに設定
		7.5P	コンポジット換算の際のセットアップを7.5%に設定
		?	コンポジット換算の際のセットアップ値を問い合わせ

2. イーサーネット

コマンド	パラメータ 1	パラメータ 2	説明
SYS:UNIT:ERROR:C_GAMUT:UPPER	1, 2, 3, 4	90.0~135.0	コンポジットガマットエラーの上限値を設定 (%)
		?	コンポジットガマットエラーの上限値を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:C_GAMUT:LOWER	1, 2, 3, 4	-40.0~20.0	コンポジットガマットエラーの下限値を設定 (%)
		?	コンポジットガマットエラーの下限値を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:C_GAMUT:AREA	1, 2, 3, 4	0.1~5.0	コンポジットガマットエラーの検出エリアを設定 (%)
		?	コンポジットガマットエラーの検出エリアを問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:C_GAMUT:DURATION	1, 2, 3, 4	1~60	コンポジットガマットエラーの検出期間を設定 (Frames)
		?	コンポジットガマットエラーの検出期間を問い合わせ

● UNIT SETUP (ERROR SETUP4)

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	パラメータ 2	説明
SYS:UNIT:ERROR:FREEZE	1, 2, 3, 4	ON	フリーズエラーを検出
		OFF	フリーズエラーを検出しない
		?	フリーズエラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:FREEZE:UPPER	1, 2, 3, 4	0~100	フリーズエラーの検出エリア(上側)を設定 (%)
		?	フリーズエラーの検出エリア(上側)を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:FREEZE:LOWER	1, 2, 3, 4	0~100	フリーズエラーの検出エリア(下側)を設定 (%)
		?	フリーズエラーの検出エリア(下側)を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:FREEZE:LEFT	1, 2, 3, 4	0~100	フリーズエラーの検出エリア(左側)を設定 (%)
		?	フリーズエラーの検出エリア(左側)を問い合わせ

2. イーサーネット

コマンド	パラメータ 1	パラメータ 2	説明
SYS:UNIT:ERROR:FREEZE:RIGHT	1, 2, 3, 4	0~100	フリーズエラーの検出エリア(右側)を設定(%)
		?	フリーズエラーの検出エリア(右側)を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:FREEZE:DURATION	1, 2, 3, 4	2~300	フリーズエラーの検出期間を設定(Frames)
		?	フリーズエラーの検出期間を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:BLACK	1, 2, 3, 4	ON	ブラックエラーを検出
		OFF	ブラックエラーを検出しない
		?	ブラックエラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:BLACK:LEVEL	1, 2, 3, 4	0~100	ブラックエラーの検出レベルを設定(%)
		?	ブラックエラーの検出レベルを問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:BLACK:AREA	1, 2, 3, 4	1~100	ブラックエラーの検出エリアを設定(%)
		?	ブラックエラーの検出エリアを問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:BLACK:DURATION	1, 2, 3, 4	1~300	ブラックエラーの検出期間を設定(Frames)
		?	ブラックエラーの検出期間を問い合わせ

● UNIT SETUP (ERROR SETUP5)

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	パラメータ 2	説明
SYS:UNIT:ERROR:LEVEL	1, 2, 3, 4	ON	レベルエラーを検出
		OFF	レベルエラーを検出しない
		?	レベルエラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:LEVEL:RUMA:UPPER	1, 2, 3, 4	-51~766	輝度レベルの上限値を設定(mV)
		?	輝度レベルの上限値を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:LEVEL:RUMA:LOWER	1, 2, 3, 4	-51~766	輝度レベルの下限値を設定(mV)
		?	輝度レベルの下限値を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:LEVEL:CHROMA:UPPER	1, 2, 3, 4	-400~399	色差レベルの上限値を設定(mV)
		?	色差レベルの上限値を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:LEVEL:CHROMA:LOWER	1, 2, 3, 4	-400~399	色差レベルの下限値を設定(mV)
		?	色差レベルの下限値を問い合わせ

● WFM

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
WFM	-	ビデオ信号波形を表示
WFM:CH1	ON	CH1 を表示する
	OFF	CH1 を表示しない
	?	CH1 表示の有無を問い合わせ
WFM:CH2	ON	CH2 を表示する
	OFF	CH2 を表示しない
	?	CH2 表示の有無を問い合わせ
WFM:CH3	ON	CH3 を表示する
	OFF	CH3 を表示しない
	?	CH3 表示の有無を問い合わせ
WFM:OVLAY	ON	オーバーレイ表示を設定
	OFF	パレード表示を設定
	?	表示形式の問い合わせ

● WFM - INTEN/SCALE

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
WFM:INTEN:WFM	-128~127	ビデオ信号波形の輝度を設定
	?	ビデオ信号波形の輝度を問い合わせ
WFM:COLOR	WHITE	波形表示色を白色に設定
	GREEN	波形表示色を緑色に設定
	MULTI	波形表示色を Y : 薄黄、Cb : シアン、Cr : マゼンタ、G : 緑、B : 青、R : 赤に設定
	?	波形表示色を問い合わせ
WFM:INTEN:SCALE	-8~7	スケールの輝度を設定
	?	スケールの輝度を問い合わせ
WFM:SCALE:UNIT	HDV_SDP	スケールの単位を HD-SDI のとき V、SD-SDI のとき%に設定
	HDV_SDV	スケールの単位を V に設定
	HDP_SDP	スケールの単位を%に設定
	?	スケールの単位を問い合わせ
WFM:SCALE:COLOR75P	ON	75%スケールを表示
	OFF	75%スケールを非表示
	?	75%スケール表示の有無を問い合わせ
WFM:SCALE:COLOR	WHITE	スケール表示色を白色に設定
	YELLOW	スケール表示色を黄色に設定
	CYAN	スケール表示色を水色に設定
	GREEN	スケール表示色を緑色に設定
	MAGENTA	スケール表示色を紫色に設定
	RED	スケール表示色を赤色に設定
	BLUE	スケール表示色を青色に設定
?	スケール表示色を問い合わせ	

● WFM - GAIN/SWEEP

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
WFM:GAIN:VAR	CAL	波形の倍率を固定(×1)に設定
	VAR	波形の倍率を可変(×0.200~×2.000)に設定
	?	波形の倍率形式を問い合わせ
WFM:GAIN:VAL	0.200~2.000	波形の可変倍率を設定(倍)
	?	波形の可変倍率を問い合わせ
WFM:GAIN:MAG	X1	波形の倍率を×1に設定
	X5	波形の倍率を×5に設定
	?	波形の倍率を問い合わせ
WFM:SWEEP:SWEEP	H	掃引設定をライン表示に設定
	V	掃引設定をフィールドまたはフレーム表示に設定
	?	掃引設定の問い合わせ
WFM:SWEEP:H_SWEEP	1H	1ライン表示を設定
	2H	2ライン表示を設定
	?	ライン表示設定の問い合わせ
WFM:SWEEP:V_SWEEP	1V	入力信号がプログレッシブのときは1フレーム、インタレースまたはセグメントフレームのときは1フィールド表示を設定
	2V	1フレーム表示を設定
	?	フィールドまたはフレーム表示設定の問い合わせ
WFM:SWEEP:H_MAG	X1	ライン表示のとき掃引倍率を波形が画面に収まるように設定
	X10	ライン表示のとき掃引倍率をX1に対して10倍に設定
	X20	ライン表示のとき掃引倍率をX1に対して20倍に設定
	ACTIVE	ライン表示のときアクティブ期間の波形を拡大表示
	BLANK	ライン表示のときHブランキング期間の波形を拡大表示
?	ライン表示のとき掃引倍率の問い合わせ	
WFM:SWEEP:V_MAG	X1	フィールド(フレーム)表示のとき掃引倍率を波形が画面に収まるように設定
	X20	フィールド(フレーム)表示のとき掃引倍率をX1に対して20倍に設定
	X40	フィールド(フレーム)表示のとき掃引倍率をX1に対して40倍に設定
	?	フィールド(フレーム)表示のとき掃引倍率の問い合わせ
WFM:SWEEP:FIELD	FIELD1	フィールド1の波形を表示
	FIELD2	フィールド2の波形を表示
	?	選択フィールドの問い合わせ

● WFM - LINE SELECT

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
WFM:LINE_SELECT	ON	ラインセレクト機能を有効にする
	OFF	ラインセレクト機能を無効にする
	?	ラインセレクト機能の問い合わせ
WFM:LINE_FIELD	FIELD1	ラインセレクトの選択範囲をフィールド1に設定
	FIELD2	ラインセレクトの選択範囲をフィールド2に設定
	FRAME	ラインセレクトの選択範囲をフレームに設定
	?	ラインセレクトの選択範囲を問い合わせ
WFM:LINE_NUMBER	例) 1~1125 (フォーマット による)	ラインセレクトのラインを設定
	?	ラインセレクトの選択ラインを問い合わせ

● WFM - ARRANGE

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
WFM:FILTER:NORMAL	FLAT	コンポーネント表示時のフィルタをフラットに設定
	LOWPASS	コンポーネント表示時のフィルタをLPFに設定
	?	コンポーネント表示時のフィルタを問い合わせ
WFM:FILTER:COMPOSITE	FLAT	疑似コンポジット表示時のフィルタをフラットに設定
	FLAT_LUM	疑似コンポジット表示時のフィルタをフラットと輝度信号のパレード表示に設定
	FLAT_CHROMA	疑似コンポジット表示時のフィルタをフラットと色信号のパレード表示に設定
	?	疑似コンポジット表示時のフィルタを問い合わせ
WFM:BLANKING:NORMAL	REMOVE	コンポーネント表示時、アクティブ期間を表示
	H_VIEW	コンポーネント表示時、アクティブ期間と水平ブランキング期間を表示
	V_VIEW	コンポーネント表示時、アクティブ期間と垂直ブランキング期間を表示
	ALL_VIEW	コンポーネント表示時、入力信号の全てを表示
	?	コンポーネント表示時、ブランキング期間の表示を問い合わせ
WFM:BLANKING:COMPOSITE	REMOVE	疑似コンポジット表示時、アクティブ期間を表示
	V_VIEW	疑似コンポジット表示時、アクティブ期間と垂直ブランキング期間を表示
	?	疑似コンポジット表示時、ブランキング期間の表示を問い合わせ
WFM:PERSISTENCE	ON	残光表示ありに設定
	OFF	残光表示なしに設定
	INFINIT	波形を重ね書き
	?	残光表示の設定を問い合わせ
WFM:PERSIST_CLEAR	-	波形の重ね書きをクリア

2. イーサーネット

コマンド	パラメータ 1	説明
WFM:SPECIAL_FORM	NORMAL	特殊表示をなしに設定
	TIMING	特殊表示をタイミングに設定
	4Y_PARADE	特殊表示を 4Y パレードに設定
	?	特殊表示の問い合わせ

● WFM - COLOR SYSTEM

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
WFM: MATRIX	YCBCR	カラーマトリックスを YCbCr 表示に設定
	GBR	カラーマトリックスを GBR 表示に設定
	RGB	カラーマトリックスを RGB 表示に設定
	COMPOSITE	カラーマトリックスを疑似コンポジット表示に設定
	?	カラーマトリックスの問い合わせ
WFM: MATRIX: YGBR	ON	GBR 表示のとき輝度信号を表示する
	OFF	GBR 表示のとき輝度信号を表示しない
	?	GBR 表示のとき輝度信号の有無を問い合わせ
WFM: MATRIX: YRGB	ON	RGB 表示のとき輝度信号を表示する
	OFF	RGB 表示のとき輝度信号を表示しない
	?	RGB 表示のとき輝度信号の有無を問い合わせ
WFM: MATRIX: COMPOSITE: FORMAT	AUTO	疑似コンポジット表示のとき NTSC、PAL をオートで判別
	NTSC	疑似コンポジット表示のとき NTSC で表示
	PAL	疑似コンポジット表示のとき PAL で表示
	?	疑似コンポジット表示のときのフォーマットを問い合わせ
WFM: MATRIX: SETUP	0P	疑似コンポジット表示のときセットアップをなしに設定
	7.5P	疑似コンポジット表示のときセットアップを 7.5% に設定
	?	疑似コンポジット表示のときセットアップの値を問い合わせ

● VECTOR

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
VECTOR	-	ベクトル波形を表示

● VECTOR - INTEN/SCALE

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
VECTOR:INTEN:VECTOR	-128~127	ベクトル波形の輝度を設定
	?	ベクトル波形の輝度を問い合わせ
VECTOR:COLOR	WHITE	波形表示色を白色に設定
	GREEN	波形表示色を緑色に設定
	?	波形表示色を問い合わせ
VECTOR:INTEN:SCALE	-8~7	スケールの輝度を設定
	?	スケールの輝度を問い合わせ
VECTOR:SCALE:IQ	ON	IQ 軸を表示
	OFF	IQ 軸を非表示
	?	IQ 軸表示の有無を問い合わせ
VECTOR:SCALE:COLOR	WHITE	スケール表示色を白色に設定
	YELLOW	スケール表示色を黄色に設定
	CYAN	スケール表示色を水色に設定
	GREEN	スケール表示色を緑色に設定
	MAGENTA	スケール表示色を紫色に設定
	RED	スケール表示色を赤色に設定
	BLUE	スケール表示色を青色に設定
	?	スケール表示色を問い合わせ

● VECTOR - GAIN

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
VECTOR:GAIN:VAR	GAL	波形の倍率を固定(×1)に設定
	VAR	波形の倍率を可変(×0.200~×2.000)に設定
	?	波形の倍率形式を問い合わせ
VECTOR:GAIN:VAL	0.200~2.000	波形の可変倍率を設定(倍)
	?	波形の可変倍率を問い合わせ
VECTOR:GAIN:MAG	X1	波形の倍率を×1に設定
	X5	波形の倍率を×5に設定
	IQ	IQ 信号が円周上に乗るように倍率を設定
	?	波形の倍率を問い合わせ

● VECTOR - LINE SELECT

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
VECTOR:LINE_SELECT	ON	ラインセレクト機能を有効にする
	OFF	ラインセレクト機能を無効にする
	?	ラインセレクト機能の問い合わせ
VECTOR:LINE_FIELD	FIELD1	ラインセレクトの選択範囲をフィールド1に設定
	FIELD2	ラインセレクトの選択範囲をフィールド2に設定
	FRAME	ラインセレクトの選択範囲をフレームに設定
	?	ラインセレクトの選択範囲を問い合わせ
VECTOR:LINE_NUMBER	例) 1~1125 (フォーマット による)	ラインセレクトのラインを設定
	?	ラインセレクトの選択ラインを問い合わせ

● VECTOR - COLOR SYSTEM

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
VECTOR:MATRIX	COMPONENT	カラーマトリックスをコンポーネント表示に設定
	COMPOSITE	カラーマトリックスを疑似コンポジット表示に設定
	?	カラーマトリックスの問い合わせ
VECTOR:MATRIX:COMPOSITE:FORMAT	AUTO	疑似コンポジット表示のとき NTSC、PAL を自動で切換
	NTSC	疑似コンポジット表示のとき NTSC で表示
	PAL	疑似コンポジット表示のとき PAL で表示
	?	疑似コンポジット表示のときのフォーマットを問い合わせ
VECTOR:MATRIX:SETUP	0P	疑似コンポジット表示のときセットアップをなしに設定
	7.5P	疑似コンポジット表示のときセットアップを7.5%に設定
	?	疑似コンポジット表示のときセットアップの値を問い合わせ
VECTOR:MATRIX:COLORBAR	100P	スケールを100%カラーバーに合うように設定
	75P	スケールを75%カラーバーに合うように設定
	?	スケールの種類を問い合わせ

● VECTOR - DISPLAY

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
VECTOR:MODE	VECTOR	ベクトル波形表示に設定
	5BAR	5バー表示に設定
	?	表示モードの問い合わせ
VECTOR:5BAR:MATRIX	GBR	5バー表示の表示順をGBRに設定
	RGB	5バー表示の表示順をRGBに設定
	?	5バー表示の表示順を問い合わせ
VECTOR:5BAR:UNIT	MV	5バー表示のスケール単位をmVに設定
	PER	5バー表示のスケール単位を%に設定
	?	5バー表示のスケール単位を問い合わせ

● VECTOR - PERSISTENCE

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
VECTOR:PERSISTENCE	ON	残光表示ありに設定
	OFF	残光表示なしに設定
	INFINIT	波形を重ね書きに設定
	?	残光表示の設定を問い合わせ
VECTOR:PERSIST_CLEAR	-	波形の重ね書きをクリア

● PICTURE

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
PICTURE	-	ピクチャーを表示

● PICTURE - ADJUST

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
PICTURE: BRIGHT	-30~30	ピクチャー表示のブライトネスを設定 (%)
	?	ピクチャー表示のブライトネスを問い合わせ
PICTURE: CONTRAST	0.70~1.30	ピクチャー表示のコントラストを設定 (倍)
	?	ピクチャー表示のコントラストを問い合わせ
PICTURE: GAIN: R	0.70~1.30	R 信号のゲイン倍率を設定 (倍)
	?	R 信号のゲイン倍率を問い合わせ
PICTURE: GAIN: G	0.70~1.30	G 信号のゲイン倍率を設定 (倍)
	?	G 信号のゲイン倍率を問い合わせ
PICTURE: GAIN: B	0.70~1.30	B 信号のゲイン倍率を設定 (倍)
	?	B 信号のゲイン倍率を問い合わせ
PICTURE: BIAS: R	-0.30~0.30	R 信号のバイアスを設定 (×100%)
	?	R 信号のバイアスを問い合わせ
PICTURE: BIAS: G	-0.30~0.30	G 信号のバイアスを設定 (×100%)
	?	G 信号のバイアスを問い合わせ
PICTURE: BIAS: B	-0.30~0.30	B 信号のバイアスを設定 (×100%)
	?	B 信号のバイアスを問い合わせ

● PICTURE - MARKER

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
PICTURE: MARKER: 4_3	ON	4:3 アスペクトマーカを表示する
	OFF	4:3 アスペクトマーカを表示しない
	?	4:3 アスペクトマーカ表示の有無を問い合わせ
PICTURE: MARKER: 16_9	ON	16:9 アスペクトマーカを表示する
	OFF	16:9 アスペクトマーカを表示しない
	?	16:9 アスペクトマーカ表示の有無を問い合わせ
PICTURE: MARKER: SAFE_ACTION	ON	セーフアクションマーカを表示する
	OFF	セーフアクションマーカを表示しない
	?	セーフアクションマーカ表示の有無を問い合わせ

2. イーサーネット

コマンド	パラメータ 1	説明
PICTURE:MARKER:SAFE_TITLE	ON	セーフタイトルマーカを表示する
	OFF	セーフタイトルマーカを表示しない
	?	セーフタイトルマーカ表示の有無を問い合わせ
PICTURE:MARKER:CENTER	ON	センターマーカを表示する
	OFF	センターマーカを表示しない
	?	センターマーカ表示の有無を問い合わせ

● PICTURE - LINE SELECT

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
PICTURE:LINE_SELECT	ON	ラインセレクトマーカを表示する
	OFF	ラインセレクトマーカを表示しない
	?	ラインセレクトマーカの問い合わせ
PICTURE:LINE_FIELD	FIELD1	ラインセレクトの選択範囲をフィールド1に設定
	FIELD2	ラインセレクトの選択範囲をフィールド2に設定
	FRAME	ラインセレクトの選択範囲をフレームに設定
	?	ラインセレクトの選択範囲を問い合わせ
PICTURE:LINE_NUMBER	例) 1~1125 (フォーマットによる)	ラインセレクトのラインを設定
	?	ラインセレクトの選択ラインを問い合わせ

● PICTURE - DISPLAY

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
PICTURE:SIZE	FIT	ピクチャーサイズを最適化して表示
	REAL	ビデオ信号の1サンプルを画面の1画素で表示
	FULL_FRM	ブランキング期間を含めた1フレームを表示
	?	ピクチャーサイズの問い合わせ
PICTURE:GAMUT_ERROR	ON	ガマットエラーを表示する
	OFF	ガマットエラーを表示しない
	?	ガマットエラー表示の有無を問い合わせ
PICTURE:GAMUT_PATTERN	WHITE	ガマットエラーの表示色を白色に設定
	RED	ガマットエラーの表示色を赤色に設定
	MESH	ガマットエラーの表示色を網目模様を設定
	?	ガマットエラーの表示色を問い合わせ
PICTURE:AFD	ON	AFDを表示する
	OFF	AFDを表示しない
	?	AFD表示の有無を問い合わせ

● PICTURE - SUPER IMPOSE

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
PICTURE:S_IMPOSE:STD	OFF	クローズドキャプションデータを表示しない
	SMPTE	SMPTE クローズドキャプションデータを表示する
	ARIB	ARIB 字幕を表示する
	?	表示している CC の規格を問い合わせ

2. イーサーネット

コマンド	パラメータ 1	説明
PICTURE:S_IMPOSE:FMT_SMPTE	FMT_608_708	608 (708) のクローズドキャプションデータを表示する
	FMT_608_608	608 (608) のクローズドキャプションデータを表示する
	FMT_VBI	VBI のクローズドキャプションデータを表示する
	FMT_708	708 (708) のクローズドキャプションデータを表示する
	?	表示している CC のフォーマットを問い合わせ
PICTURE:S_IMPOSE:DISP_608	CC1	708 (708) 以外の CC1 を表示
	CC2	708 (708) 以外の CC2 を表示
	CC3	708 (708) 以外の CC3 を表示
	CC4	708 (708) 以外の CC4 を表示
	TEXT1	708 (708) 以外の TEXT1 を表示
	TEXT2	708 (708) 以外の TEXT2 を表示
	TEXT3	708 (708) 以外の TEXT3 を表示
	TEXT4	708 (708) 以外の TEXT4 を表示
	?	708 (708) 以外の表示している CC のタイプを問い合わせ
PICTURE:S_IMPOSE:DISP_708	1~63	708 (708) のサービス番号を設定する
	?	708 (708) のサービス番号を問い合わせ
PICTURE:S_IMPOSE:FMT_ARIB	HD	ARIB HD 字幕を表示する
	SD	ARIB SD 字幕を表示する
	ANALOG	ARIB アナログ字幕を表示する
	CELLULAR	ARIB 携帯字幕を表示する
PICTURE:S_IMPOSE:DISP_ARIB	1	ARIB 字幕の第一言語を表示する
	2	ARIB 字幕の第二言語を表示する

● STATUS

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
STATUS	-	ステータス表示を設定

● STATUS - EVENT LOG

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
STATUS:LOG	-	エラーログ画面を表示
STATUS:LOG:LOG	START	エラーログを開始
	STOP	エラーログを停止
	?	エラーログの状態を問い合わせ
STATUS:LOG:CLEAR	-	エラーログのクリア
STATUS:LOG:MODE	OVER_WR	エラーログが 5000 を超えたとき上書き
	STOP	エラーログが 5000 を超えたとき記録しない
	?	エラーログが 5000 を超えたときの動作を問い合わせ
MAKE	LOG	エラーログをテキストファイルで本体内部に生成

● STATUS - SDI ANALYSIS

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
STATUS:DUMP	-	データダンプ画面を表示
STATUS:DUMP:MODE	RUN	データダンプを自動更新
	HOLD	データダンプをホールド表示
	FRM_CAP	フレームキャプチャのデータダンプを表示
	?	データダンプの表示モードを問い合わせ
STATUS:DUMP:DISPLAY	SERIAL	シングルリンクのときデータダンプをシリアル表示
	COMPONENT	シングルリンクのときデータダンプを Y、Cb、Cr に分離して表示
	BINARY	シングルリンクのときデータダンプをバイナリー表示
	?	シングルリンクのときデータダンプの表示形式を問い合わせ
STATUS:DUMP:DISPLAY_DUAL	A	デュアルリンクのときリンク A をシリアル表示
	B	デュアルリンクのときリンク B をシリアル表示
	A/B	デュアルリンクのときリンク A とリンク B を合成して表示
	?	デュアルリンクのときデータダンプの表示形式を問い合わせ
STATUS:DUMP:EAV	-	データダンプを EAV から表示
STATUS:DUMP:SAV	-	データダンプを SAV から表示
STATUS:DUMP:LINE_NUMBER	例) 1~1125 (フォーマットによる)	データダンプ表示のライン番号を設定
MAKE	DUMP	データダンプをテキストファイルで本体内部に生成
STATUS:DUMP:SAMPLE	例) 0~2199 (フォーマットによる)	データダンプ表示の先頭のサンプル番号を設定

● STATUS - COUNTER

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
STATUS:COUNTER	SEC	エラーカウントを 1 秒単位で更新し、回数で表示
	FIELD	エラーカウントをフィールド単位で更新し、回数で表示
	PER_FIELD	エラーカウントをフィールド単位で更新し、%表示
	?	エラーカウントの更新単位と表示単位を問い合わせ

● STATUS - ERROR CLEAR

LV 58SER01A (SDI INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
STATUS:RESET	-	エラーカウントのクリア

2.4.3 LV 58SER02 のコマンド (EYE PATTERN unit)

● UNIT SETUP

LV 58SER02 (EYE PATTERN unit)

コマンド	パラメータ 1	パラメータ 2	説明
SYS:UNIT:ERROR:HD_AMP	1, 2, 3, 4 (※1)	ON	HD のとき振幅エラーを検出する
		OFF	HD のとき振幅エラーを検出しない
		?	HD のとき振幅エラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:HD_AMP:UPPER	1, 2, 3, 4	80~140	HD のとき振幅エラーの上限値を設定 (%)
		?	HD のとき振幅エラーの上限値を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:HD_AMP:LOWER	1, 2, 3, 4	40~100	HD のとき振幅エラーの下限値を設定 (%)
		?	HD のとき振幅エラーの下限値を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:HD_RISE	1, 2, 3, 4	ON	HD のとき立ち上がり時間のエラーを検出する
		OFF	HD のとき立ち上がり時間のエラーを検出しない
		?	HD のとき立ち上がり時間のエラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:HD_RISE:MAX	1, 2, 3, 4	40~140	HD のとき立ち上がり時間の上限値を設定 (%)
		?	HD のとき立ち上がり時間の上限値を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:HD_FALL	1, 2, 3, 4	ON	HD のとき立ち下がり時間のエラーを検出する
		OFF	HD のとき立ち下がり時間のエラーを検出しない
		?	HD のとき立ち下がり時間のエラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:HD_FALL:MAX	1, 2, 3, 4	40~140	HD のとき立ち下がり時間の上限値を設定 (%)
		?	HD のとき立ち下がり時間の上限値を問い合わせ

※1 LV 58SER02 が装着されているユニット番号を入力してください。

2. イーサーネット

コマンド	パラメータ 1	パラメータ 2	説明
SYS:UNIT:ERROR:HD_DELTA	1, 2, 3, 4	ON	HD のとき立ち上がり時間(Tr)-立ち下がり時間(Tf)のエラーを検出する
		OFF	HD のとき Tr-Tf エラーを検出しない
		?	HD のとき Tr-Tf エラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:HD_DELTA:MAX	1, 2, 3, 4	40~140	HD のとき Tr-Tf エラーの上限値を設定(%)
		?	HD のとき Tr-Tf エラーの上限値を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:HD_TIMING_JIT	1, 2, 3, 4	ON	HD のときタイミングジッタ値のエラーを検出する
		OFF	HD のときタイミングジッタ値のエラーを検出しない
		?	HD のときタイミングジッタ値のエラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:HD_TIMING_JIT:MAX	1, 2, 3, 4	10~200	HD のときタイミングジッタの上限値を設定(%)
		?	HD のときタイミングジッタの上限値を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:HD_CURRENT_JIT	1, 2, 3, 4	ON	HD のときカレントジッタ値のエラーを検出する
		OFF	HD のときカレントジッタ値のエラーを検出しない
		?	HD のときカレントジッタ値のエラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:HD_CURRENT_JIT:MAX	1, 2, 3, 4	10~200	HD のときカレントジッタの上限値を設定(%)
		?	HD のときカレントジッタの上限値を問い合わせ

2. イーサーネット

コマンド	パラメータ 1	パラメータ 2	説明
SYS:UNIT:ERROR:SD_AMP	1, 2, 3, 4	ON	SD のとき振幅エラーを検出する
		OFF	SD のとき振幅エラーを検出しない
		?	SD のとき振幅エラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:SD_AMP:UPPER	1, 2, 3, 4	80~140	SD のとき振幅エラーの上限値を設定 (%)
		?	SD のとき振幅エラーの上限値を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:SD_AMP:LOWER	1, 2, 3, 4	40~100	SD のとき振幅エラーの下限値を設定 (%)
		?	SD のとき振幅エラーの下限値を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:SD_RISE	1, 2, 3, 4	ON	SD のとき立ち上がり時間のエラーを検出する
		OFF	SD のとき立ち上がり時間のエラーを検出しない
		?	SD のとき立ち上がり時間のエラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:SD_RISE:MAX	1, 2, 3, 4	40~140	SD のとき立ち上がり時間の上限値を設定 (%)
		?	SD のとき立ち上がり時間の上限値を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:SD_FALL	1, 2, 3, 4	ON	SD のとき立ち下がり時間のエラーを検出する
		OFF	SD のとき立ち下がり時間のエラーを検出しない
		?	SD のとき立ち下がり時間のエラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:SD_FALL:MAX	1, 2, 3, 4	40~140	SD のとき立ち下がり時間の上限値を設定 (%)
		?	SD のとき立ち下がり時間の上限値を問い合わせ

2. イーサーネット

コマンド	パラメータ 1	パラメータ 2	説明
SYS:UNIT:ERROR:SD_DELTA	1, 2, 3, 4	ON	SD のとき立ち上がり時間(Tr)-立ち下がり時間(Tf)のエラーを検出
		OFF	SD のとき Tr-Tf エラーを検出しない
		?	SD のとき Tr-Tf エラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:SD_DELTA:MAX	1, 2, 3, 4	40~140	SD のとき Tr-Tf エラーの上限値を設定(%)
		?	SD のとき Tr-Tf エラーの上限値を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:SD_TIMING_JIT	1, 2, 3, 4	ON	SD のときタイミングジッタ値のエラーを検出
		OFF	SD のときタイミングジッタ値のエラーを検出しない
		?	SD のときタイミングジッタ値のエラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:SD_TIMING_JIT:MAX	1, 2, 3, 4	10~200	SD のときタイミングジッタの上限値を設定(%)
		?	SD のときタイミングジッタの上限値を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:SD_CURRENT_JIT	1, 2, 3, 4	ON	SD のときカレントジッタ値のエラーを検出
		OFF	SD のときカレントジッタ値のエラーを検出しない
		?	SD のときカレントジッタ値のエラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:SD_CURRENT_JIT:MAX	1, 2, 3, 4	10~200	SD のときカレントジッタの上限値を設定(%)
		?	SD のときカレントジッタの上限値を問い合わせ

● EYE

LV 58SER02 (EYE PATTERN unit)

コマンド	パラメータ 1	説明
EYE	-	アイパターン表示を設定する

● EYE - EYE INTEN

LV 58SER02 (EYE PATTERN unit)

コマンド	パラメータ 1	説明
EYE:INTEN:EYE	-128~127	アイパターン波形の輝度を設定
	?	アイパターン波形の輝度を問い合わせ
EYE:INTEN:SCALE	-8~7	スケールの輝度を設定
	?	スケールの輝度を問い合わせ

● EYE - MODE

LV 58SER02 (EYE PATTERN unit)

コマンド	パラメータ 1	説明
EYE:MODE	EYE	アイパターン波形を表示する
	JITTER	ジッタ波形を表示する
	?	表示波形の問い合わせ

● EYE - EYE SETUP

LV 58SER02 (EYE PATTERN unit)

コマンド	パラメータ 1	説明
EYE:AUTO_MEASURE	ON	アイパターン波形を自動測定する
	OFF	アイパターン波形を自動測定しない
	?	アイパターン波形の自動測定の状態を問い合わせ
EYE:GAIN:VAR	GAL	アイパターン波形の倍率を固定(×1)に設定
	VAR	アイパターン波形の倍率を可変(×0.50~×2.00)に設定
	?	アイパターン波形の倍率形式を問い合わせ
EYE:GAIN:VAL	0.50~2.00	アイパターン波形の可変倍率を設定(倍)
	?	アイパターン波形の可変倍率を問い合わせ
EYE:SWEEP:SWEEP	2UI	アイパターン波形の表示期間を 2UI に設定
	4UI	アイパターン波形の表示期間を 4UI に設定
	16UI	アイパターン波形の表示期間を 16UI に設定
	?	アイパターン波形の表示期間を問い合わせ
EYE:FILTER	100KHZ	アイパターン波形のときジッタの測定帯域を 100kHz 以上に設定
	1KHZ	アイパターン波形のときジッタの測定帯域を 1kHz 以上に設定
	100HZ	アイパターン波形のときジッタの測定帯域を 100Hz 以上に設定
	10HZ	アイパターン波形のときジッタの測定帯域を 10Hz 以上に設定
	TIMING	アイパターン波形のときジッタの測定帯域を 10Hz 以上(タイミングジッタ)に設定
	ALIGNMENT	アイパターン波形のときジッタの測定帯域を HD-SDI のときは 100kHz 以上、SD-SDI のときは 1kHz 以上(アライメントジッタ)に設定
	?	アイパターン波形のときジッタのフィルタ帯域を問い合わせ

● EYE - JITTER SETUP

LV 58SER02 (EYE PATTERN unit)

コマンド	パラメータ 1	説明
EYE:JITTER:PEAK_HOLD	ON	ジッタ波形のピーク値を保持する
	OFF	ジッタ波形のピーク値を保持しない
	?	ジッタ波形のピーク値の保持状態を問い合わせ
EYE:JITTER:PEAK_CLEAR	-	ジッタ波形のピーク値をクリア
EYE:JITTER:GAIN	X1	ジッタ波形の倍率を×1に設定
	X2	ジッタ波形の倍率を×2に設定
	X8	ジッタ波形の倍率を×8に設定
	?	ジッタ波形の倍率を問い合わせ
EYE:JITTER:SWEEP	1H	ジッタ波形を1ビデオライン分表示
	2H	ジッタ波形を2ビデオライン分表示
	1V	ジッタ波形を1ビデオフィールド分表示
	2V	ジッタ波形を2ビデオフィールド分表示
	?	ジッタ波形の表示期間を問い合わせ
EYE:JITTER:FILTER	100KHZ	ジッタ波形のときジッタの測定帯域を100kHz以上に設定
	1KHZ	ジッタ波形のときジッタの測定帯域を1kHz以上に設定
	100HZ	ジッタ波形のときジッタの測定帯域を100Hz以上に設定
	10HZ	ジッタ波形のときジッタの測定帯域を10Hz以上に設定
	TIMING	ジッタ波形のときジッタの測定帯域を10Hz以上(タイミングジッタ)に設定
	ALIGNMENT	ジッタ波形のときジッタの測定帯域をHD-SDIのときは100kHz以上、SD-SDIのときは1kHz以上(アライメントジッタ)に設定
	?	アイパターン波形のときジッタのフィルタ帯域を問い合わせ

2.4.4 LV 58SER03 のコマンド (COMPOSITE VIDEO INPUT)

● WFM

LV 58SER03 (COMPOSITE VIDEO INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
WFM	-	ビデオ信号波形を表示

● WFM - INTEN/SCALE

LV 58SER03 (COMPOSITE VIDEO INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
WFM:INTEN:WFM	-128~127	ビデオ信号波形の輝度を設定
	?	ビデオ信号波形の輝度を問い合わせ
WFM:COLOR	WHITE	波形表示色を白色に設定
	GREEN	波形表示色を緑色に設定
	?	波形表示色を問い合わせ
WFM:INTEN:SCALE	-8~7	スケールの輝度を設定
	?	スケールの輝度を問い合わせ
WFM:SCALE:COLOR	WHITE	スケール表示色を白色に設定
	YELLOW	スケール表示色を黄色に設定
	CYAN	スケール表示色を水色に設定
	GREEN	スケール表示色を緑色に設定
	MAGENTA	スケール表示色を紫色に設定
	RED	スケール表示色を赤色に設定
	BLUE	スケール表示色を青色に設定
	?	スケール表示色を問い合わせ

● WFM - GAIN/FLT SWEEP

LV 58SER03 (COMPOSITE VIDEO INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
WFM:GAIN:VAR	CAL	波形の倍率を固定($\times 1$)に設定
	VAR	波形の倍率を可変($\times 0.200 \sim \times 2.000$)に設定
	?	波形の倍率形式を問い合わせ
WFM:GAIN:VAL	0.200~2.000	波形の可変倍率を設定(倍)
	?	波形の可変倍率を問い合わせ
WFM:GAIN:MAG	X1	波形の倍率を $\times 1$ に設定
	X5	波形の倍率を $\times 5$ に設定
	?	波形の倍率を問い合わせ
WFM:FILTER:NORMAL	FLAT	フィルタをフラットに設定
	LOWPASS	フィルタをLPFに設定
	?	フィルタの種類を問い合わせ
WFM:SWEEP:SWEEP	H	掃引設定をライン表示に設定
	V	掃引設定をフィールド表示に設定
	?	掃引設定の問い合わせ
WFM:SWEEP:H_SWEEP	1H	1ライン表示を設定
	2H	2ライン表示を設定
	?	ライン表示設定の問い合わせ

2. イーサーネット

コマンド	パラメータ 1	説明
WFM:SWEEP:V_SWEEP	1V	1 フィールド表示を設定
	2V	1 フレーム表示を設定
	?	フィールドまたはフレーム表示設定の問い合わせ
WFM:SWEEP:H_MAG	X1	ライン表示のとき掃引倍率を波形が画面に収まるように設定
	X10	ライン表示のとき掃引倍率を X1 に対して 10 倍に設定
	X20	ライン表示のとき掃引倍率を X1 に対して 20 倍に設定
	?	ライン表示のとき掃引倍率の問い合わせ
WFM:SWEEP:V_MAG	X1	フィールド表示のとき掃引倍率を波形が画面に収まるように設定
	X20	フィールド表示のとき掃引倍率を X1 に対して 10 倍に設定
	X40	フィールド表示のとき掃引倍率を X1 に対して 40 倍に設定
	?	フィールド表示のとき掃引倍率の問い合わせ

● WFM - LINE SELECT

LV 58SER03 (COMPOSITE VIDEO INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
WFM:LINE_SELECT	ON	ラインセレクト機能を有効にする
	OFF	ラインセレクト機能を無効にする
	?	ラインセレクト機能の問い合わせ
WFM:LINE_FIELD	FIELD1	ラインセレクトの選択範囲をフィールド 1 に設定
	FIELD2	ラインセレクトの選択範囲をフィールド 2 に設定
	FRAME	ラインセレクトの選択範囲をフレームに設定
	?	ラインセレクトの選択範囲を問い合わせ
WFM:LINE_NUMBER	ex) 1~525 (フォーマットによる)	ラインセレクトのラインを設定
	?	ラインセレクトの選択ラインを問い合わせ

● WFM - ARRANGE

LV 58SER03 (COMPOSITE VIDEO INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
WFM:PERSISTENCE	ON	残光表示ありに設定
	OFF	残光表示なしに設定
	INFINIT	波形を重ね書き
	?	残光表示の設定を問い合わせ
WFM:PERSIST_CLEAR	-	波形の重ね書きをクリア
WFM:SPECIAL_FORM	NORMAL	特殊表示をなしに設定
	4_PARADE	特殊表示を 4 パレードに設定
	?	特殊表示の問い合わせ

● VECTOR

LV 58SER03 (COMPOSITE VIDEO INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
VECTOR	-	ベクトル波形を表示
VECTOR:PHASE	0.0~359.9	ベクトル波形の位相を設定(°)
	?	ベクトル波形の位相を問い合わせ

● VECTOR - INTEN/SCALE

LV 58SER03 (COMPOSITE VIDEO INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
VECTOR:INTEN:VECTOR	-128~127	ベクトル波形の輝度を設定
	?	ベクトル波形の輝度を問い合わせ
VECTOR:COLOR	WHITE	波形表示色を白色に設定
	GREEN	波形表示色を緑色に設定
	?	波形表示色を問い合わせ
VECTOR:INTEN:SCALE	-8~7	スケールの輝度を設定
	?	スケールの輝度を問い合わせ
VECTOR:SCALE:IQ	ON	IQ軸を表示する
	OFF	IQ軸を表示しない
	?	IQ軸表示の有無を問い合わせ
VECTOR:SCALE:COLOR	WHITE	スケール表示色を白色に設定
	YELLOW	スケール表示色を黄色に設定
	CYAN	スケール表示色を水色に設定
	GREEN	スケール表示色を緑色に設定
	MAGENTA	スケール表示色を紫色に設定
	RED	スケール表示色を赤色に設定
	BLUE	スケール表示色を青色に設定
	?	スケール表示色を問い合わせ

● VECTOR - GAIN

LV 58SER03 (COMPOSITE VIDEO INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
VECTOR:GAIN:VAR	GAL	波形の倍率を固定(×1)に設定
	VAR	波形の倍率を可変(×0.200~×2.000)に設定
	?	波形の倍率形式を問い合わせ
VECTOR:GAIN:VAL	0.200~2.000	波形の可変倍率を設定(倍)
	?	波形の可変倍率を問い合わせ
VECTOR:GAIN:MAG	X1	波形の倍率を×1に設定
	X5	波形の倍率を×5に設定
	IQ	IQ信号が円周上に乗るように倍率を設定
	?	波形の倍率を問い合わせ

● VECTOR - LINE SELECT

LV 58SER03 (COMPOSITE VIDEO INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
VECTOR:LINE_SELECT	ON	ラインセレクト機能を有効にする
	OFF	ラインセレクト機能を無効にする
	?	ラインセレクト機能の問い合わせ

2. イーサーネット

コマンド	パラメータ 1	説明
VECTOR:LINE_FIELD	FIELD1	ラインセレクトの選択範囲をフィールド 1 に設定
	FIELD2	ラインセレクトの選択範囲をフィールド 2 に設定
	FRAME	ラインセレクトの選択範囲をフレームに設定
	?	ラインセレクトの選択範囲を問い合わせ
VECTOR:LINE_NUMBER	例) 1~525 (フォーマット による)	ラインセレクトのラインを設定
	?	ラインセレクトの選択ラインを問い合わせ

● VECTOR - COLOR SYSTEM

LV 58SER03 (COMPOSITE VIDEO INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
VECTOR:MATRIX:SETUP	0P	セットアップをなしに設定
	7.5P	セットアップを 7.5% に設定
	?	セットアップの値を問い合わせ
VECTOR:MATRIX:COLORBAR	100P	スケールを 100% カラーバーに合うように設定
	75P	スケールを 75% カラーバーに合うように設定
	?	スケールの種類を問い合わせ
VECTOR:NTSC_DISPLAY	ON	入力信号が PAL のとき NTSC 表示をする
	OFF	入力信号が PAL のとき NTSC 表示をしない
	?	入力信号が PAL のとき NTSC 表示をするか問い合わせ

● VECTOR - FD VAR

LV 58SER03 (COMPOSITE VIDEO INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
VECTOR:FD:MODE	PHASE	ファンクションダイヤルの動作を位相調整に設定
	LINE_SELECT	ファンクションダイヤルの動作をラインセレクトに設定
	?	ファンクションダイヤルの動作を問い合わせ

● VECTOR - PERSISTENCE

LV 58SER03 (COMPOSITE VIDEO INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
VECTOR:PERSISTENCE	ON	残光表示ありに設定
	OFF	残光表示なしに設定
	INFINIT	波形を重ね書き
	?	残光表示の設定を問い合わせ
VECTOR:PERSIST_CLEAR	-	波形の重ね書きをクリア

● VECTOR - SCH

LV 58SER03 (COMPOSITE VIDEO INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
VECTOR:SCH	ON	SCH 測定をする
	OFF	SCH 測定をしない
	?	SCH 測定の有無を問い合わせ

● PICTURE

LV 58SER03 (COMPOSITE VIDEO INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
PICTURE	-	ピクチャーを表示する

● PICTURE - ADJUST

LV 58SER03 (COMPOSITE VIDEO INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
PICTURE: BRIGHT	-30~30	ピクチャー表示のブライトネスを設定 (%)
	?	ピクチャー表示のブライトネスを問い合わせ
PICTURE: CONTRAST	0.70~1.30	ピクチャー表示のコントラストを設定 (倍)
	?	ピクチャー表示のコントラストを問い合わせ
PICTURE: GAIN: R	0.70~1.30	R 信号の倍率を設定 (倍)
	?	R 信号の倍率を問い合わせ
PICTURE: GAIN: G	0.70~1.30	G 信号の倍率を設定 (倍)
	?	G 信号の倍率を問い合わせ
PICTURE: GAIN: B	0.70~1.30	B 信号の倍率を設定 (倍)
	?	B 信号の倍率を問い合わせ
PICTURE: BIAS: R	-0.30~0.30	R 信号のバイアスを設定 (×100%)
	?	R 信号のバイアスを問い合わせ
PICTURE: BIAS: G	-0.30~0.30	G 信号のバイアスを設定 (×100%)
	?	G 信号のバイアスを問い合わせ
PICTURE: BIAS: B	-0.30~0.30	B 信号のバイアスを設定 (×100%)
	?	B 信号のバイアスを問い合わせ

● PICTURE - MARKER

LV 58SER03 (COMPOSITE VIDEO INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
PICTURE: MARKER: 16_9	ON	16:9 アスペクトマーカを表示する
	OFF	16:9 アスペクトマーカを表示しない
	?	16:9 アスペクトマーカ表示の設定を問い合わせ
PICTURE: MARKER: SAFE_ACTION	ON	セーフアクションマーカを表示する
	OFF	セーフアクションマーカを表示しない
	?	セーフアクションマーカ表示の設定を問い合わせ
PICTURE: MARKER: SAFE_TITLE	ON	セーフタイトルマーカを表示する
	OFF	セーフタイトルマーカを表示しない
	?	セーフタイトルマーカ表示の設定を問い合わせ
PICTURE: MARKER: CENTER	ON	センターマーカを表示する
	OFF	センターマーカを表示しない
	?	センターマーカ表示の設定を問い合わせ

2. イーサーネット

● PICTURE - LINE SELECT

LV 58SER03 (COMPOSITE VIDEO INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
PICTURE:LINE_SELECT	ON	ラインセレクト機能を有効にする
	OFF	ラインセレクト機能を無効にする
	?	ラインセレクト機能の問い合わせ
PICTURE:LINE_FIELD	FIELD1	ラインセレクトの選択範囲をフィールド1に設定
	FIELD2	ラインセレクトの選択範囲をフィールド2に設定
	FRAME	ラインセレクトの選択範囲をフレームに設定
	?	ラインセレクトの選択範囲を問い合わせ
PICTURE:LINE_NUMBER	例) 1~525 (フォーマット による)	ラインセレクトのラインを設定
	?	ラインセレクトの選択ラインを問い合わせ

● PICTURE - DISPLAY

LV 58SER03 (COMPOSITE VIDEO INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
PICTURE:SIZE	FIT	ピクチャーサイズを最適化して表示
	REAL	ビデオ信号の1画素を画面の1画素で表示
	FULL_FRM	ブランキング期間を含めた1フレームを表示
	?	ピクチャーサイズの問い合わせ

● STATUS

LV 58SER03 (COMPOSITE VIDEO INPUT)

コマンド	パラメータ 1	説明
STATUS	-	ステータス表示を設定

2.4.5 LV 58SER04 のコマンド (MPEG DECODER)

● UNIT SETUP

LV 58SER04 (MPEG DECODER)

コマンド	パラメータ 1	パラメータ 2	説明
SYS:UNIT:SEMI_AUTO	1, 2, 3, 4 (※1)	ON	デコード PID の選択方法を自動に設定
		OFF	デコード PID の選択方法を手動に設定
		?	デコード PID の選択方法を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:SYNC_BYTE	1, 2, 3, 4	ON	Sync Byte エラーを検出する
		OFF	Sync Byte エラーを検出しない
		?	Sync Byte エラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:CONTINUITY	1, 2, 3, 4	ON	Continuity エラーを検出する
		OFF	Continuity エラーを検出しない
		?	Continuity エラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:PAT	1, 2, 3, 4	ON	PAT エラーを検出する
		OFF	PAT エラーを検出しない
		?	PAT エラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:PAT:CYCLE	1, 2, 3, 4	100~800	PAT エラーとなる周期を設定 (msec)
		?	PAT エラーとなる周期を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:PMT	1, 2, 3, 4	ON	PMT エラーを検出する
		OFF	PMT エラーを検出しない
		?	PMT エラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:PMT:CYCLE	1, 2, 3, 4	100~800	PMT エラーとなる周期を設定 (msec)
		?	PMT エラーとなる周期を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:PID	1, 2, 3, 4	ON	PID エラーを検出する
		OFF	PID エラーを検出しない
		?	PID エラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:PID:CYCLE	1, 2, 3, 4	1~20	PID エラーとなる PMT の受信回数を設定 (section)
		?	PID エラーとなる PMT の受信回数を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:TRANSPORT	1, 2, 3, 4	ON	Transport エラーを検出する
		OFF	Transport エラーを検出しない
		?	Transport エラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:CRC_MPEG	1, 2, 3, 4	ON	CRC エラーを検出する
		OFF	CRC エラーを検出しない
		?	CRC エラー検出の有無を問い合わせ

※1 LV 58SER04 が装着されているユニット番号を入力してください。

2. イーサーネット

コマンド	パラメータ 1	パラメータ 2	説明
SYS:UNIT:ERROR:PCR	1, 2, 3, 4	ON	PCR エラーを検出する
		OFF	PCR エラーを検出しない
		?	PCR エラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:PCR:CYCLE	1, 2, 3, 4	10~200	PCR エラーとなる周期を設定 (msec)
		?	PCR エラーとなる周期を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:PCR:ACCURACY	1, 2, 3, 4	ON	PCR 精度エラーを検出する
		OFF	PCR 精度エラーを検出しない
		?	PCR 精度エラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:PTS	1, 2, 3, 4	ON	PTS エラーを検出する
		OFF	PTS エラーを検出しない
		?	PTS エラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:PTS:CYCLE	1, 2, 3, 4	100~800	PTS エラーとなる周期を設定 (msec)
		?	PTS エラーとなる周期を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:CAT	1, 2, 3, 4	ON	CAT エラーを検出する
		OFF	CAT エラーを検出しない
		?	CAT エラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:CAT:CYCLE	1, 2, 3, 4	0.1~20.0	CAT エラーとなる周期を設定 (sec)
		?	CAT エラーとなる周期を問い合わせ

● WFM

LV 58SER04 (MPEG DECODER)

コマンド	パラメータ 1	説明
WFM	-	ビデオ信号波形を表示
WFM:CH1	ON	CH1 を表示する
	OFF	CH1 を表示しない
	?	CH1 表示の有無を問い合わせ
WFM:CH2	ON	CH2 を表示する
	OFF	CH2 を表示しない
	?	CH2 表示の有無を問い合わせ
WFM:CH3	ON	CH3 を表示する
	OFF	CH3 を表示しない
	?	CH3 表示の有無を問い合わせ
WFM:OVLAY	ON	オーバーレイ表示を設定
	OFF	パレード表示を設定
	?	表示形式の問い合わせ

● WFM - INTEN/SCALE

LV 58SER04 (MPEG DECODER)

コマンド	パラメータ 1	説明
WFM:INTEN:WFM	-128~127	ビデオ信号波形の輝度を設定
	?	ビデオ信号波形の輝度を問い合わせ
WFM:COLOR	WHITE	波形表示色を白色に設定
	GREEN	波形表示色を緑色に設定
	MULTI	波形表示色を Y: 薄黄、Cb: シアン、Cr: マゼンタ、G: 緑、B: 青、R: 赤に設定
	?	波形表示色を問い合わせ
WFM:INTEN:SCALE	-8~7	スケールの輝度を設定
	?	スケールの輝度を問い合わせ
WFM:SCALE:UNIT	HDV_SDP	スケールの単位を HD のとき V、SD のとき%に設定
	HDV_SDV	スケールの単位を V に設定
	HDP_SDP	スケールの単位を%に設定
	?	スケールの単位を問い合わせ
WFM:SCALE:COLOR75P	ON	75%スケールを表示
	OFF	75%スケールを非表示
	?	75%スケール表示の有無を問い合わせ
WFM:SCALE:COLOR	WHITE	スケール表示色を白色に設定
	YELLOW	スケール表示色を黄色に設定
	CYAN	スケール表示色を水色に設定
	GREEN	スケール表示色を緑色に設定
	MAGENTA	スケール表示色を紫色に設定
	RED	スケール表示色を赤色に設定
	BLUE	スケール表示色を青色に設定
	?	スケール表示色を問い合わせ

● WFM - GAIN/SWEEP

LV 58SER04 (MPEG DECODER)

コマンド	パラメータ 1	説明
WFM:GAIN:VAR	CAL	波形の倍率を固定(×1)に設定
	VAR	波形の倍率を可変(×0.200~×2.000)に設定
	?	波形の倍率形式を問い合わせ
WFM:GAIN:VAL	0.200~2.000	波形の可変倍率を設定(倍)
	?	波形の可変倍率を問い合わせ
WFM:GAIN:MAG	X1	波形の倍率を×1に設定
	X5	波形の倍率を×5に設定
	?	波形の倍率を問い合わせ
WFM:SWEEP:SWEEP	H	掃引設定をライン表示に設定
	V	掃引設定をフィールドまたはフレーム表示に設定
	?	掃引設定の問い合わせ
WFM:SWEEP:H_SWEEP	1H	1ライン表示を設定
	2H	2ライン表示を設定
	?	ライン表示設定の問い合わせ

2. イーサーネット

コマンド	パラメータ 1	説明
WFM:SWEEP:V_SWEEP	1V	入力信号がプログレッシブのときは1フレーム、インタレースまたはセグメントフレームのときは1フィールド表示を設定
	2V	1フレーム表示を設定
	?	フィールドまたはフレーム表示設定の問い合わせ
WFM:SWEEP:H_MAG	X1	ライン表示のとき掃引倍率を波形が画面に収まるように設定
	X10	ライン表示のとき掃引倍率をX1に対して10倍に設定
	X20	ライン表示のとき掃引倍率をX1に対して20倍に設定
	ACTIVE	ライン表示のときアクティブ期間の波形を拡大表示
	?	ライン表示のとき掃引倍率の問い合わせ
WFM:SWEEP:V_MAG	X1	フィールド(フレーム)表示のとき掃引倍率を波形が画面に収まるように設定
	X20	フィールド(フレーム)表示のとき掃引倍率をX1に対して20倍に設定
	X40	フィールド(フレーム)表示のとき掃引倍率をX1に対して40倍に設定
	?	フィールド(フレーム)表示のとき掃引倍率の問い合わせ
WFM:SWEEP:FIELD	FIELD1	フィールド1の波形を表示
	FIELD2	フィールド2の波形を表示
	?	選択フィールドの問い合わせ

● WFM - LINE SELECT

LV 58SER04 (MPEG DECODER)

コマンド	パラメータ 1	説明
WFM:LINE_SELECT	ON	ラインセレクト機能を有効にする
	OFF	ラインセレクト機能を無効にする
	?	ラインセレクト機能の問い合わせ
WFM:LINE_FIELD	FIELD1	ラインセレクトの選択範囲をフィールド1に設定
	FIELD2	ラインセレクトの選択範囲をフィールド2に設定
	FRAME	ラインセレクトの選択範囲をフレームに設定
	?	ラインセレクトの選択範囲を問い合わせ
WFM:LINE_NUMBER	例) 1~1125 (フォーマットによる)	ラインセレクトのラインを設定
	?	ラインセレクトの選択ラインを問い合わせ

● WFM - ARRANGE

LV 58SER04 (MPEG DECODER)

コマンド	パラメータ 1	説明
WFM:FILTER:NORMAL	FLAT	コンポーネント表示時のフィルタをフラットに設定
	LOWPASS	コンポーネント表示時のフィルタをLPFに設定
	?	コンポーネント表示時のフィルタを問い合わせ
WFM:FILTER:COMPOSITE	FLAT	疑似コンポジット表示時のフィルタをフラットに設定
	FLAT_LUM	疑似コンポジット表示時のフィルタをフラットと輝度信号のパレード表示に設定
	FLAT_CHROMA	疑似コンポジット表示時のフィルタをフラットと色信号のパレード表示に設定
	?	疑似コンポジット表示時のフィルタを問い合わせ
WFM:PERSISTENCE	ON	残光表示ありに設定
	OFF	残光表示なしに設定
	INFINIT	波形を重ね書き
	?	残光表示の設定を問い合わせ
WFM:PERSIST_CLEAR	-	波形の重ね書きをクリア

● WFM - COLOR SYSTEM

LV 58SER04 (MPEG DECODER)

コマンド	パラメータ 1	説明
WFM:MATRIX	YCBCR	カラーマトリックスをYCbCr表示に設定
	GBR	カラーマトリックスをGBR表示に設定
	RGB	カラーマトリックスをRGB表示に設定
	COMPOSITE	カラーマトリックスを疑似コンポジット表示に設定
	?	カラーマトリックスの問い合わせ
WFM:MATRIX:YGBR	ON	GBR表示のとき輝度信号を表示する
	OFF	GBR表示のとき輝度信号を表示しない
	?	GBR表示のとき輝度信号の有無を問い合わせ
WFM:MATRIX:YRGB	ON	RGB表示のとき輝度信号を表示する
	OFF	RGB表示のとき輝度信号を表示しない
	?	RGB表示のとき輝度信号の有無を問い合わせ
WFM:MATRIX:COMPOSITE:FORMAT	AUTO	疑似コンポジット表示のときNTSC、PALをオートで判別
	NTSC	疑似コンポジット表示のときNTSCで表示
	PAL	疑似コンポジット表示のときPALで表示
	?	疑似コンポジット表示のときのフォーマットを問い合わせ
WFM:MATRIX:SETUP	0P	疑似コンポジット表示のときセットアップをなしに設定
	7.5P	疑似コンポジット表示のときセットアップを7.5%に設定
	?	疑似コンポジット表示のときセットアップの値を問い合わせ

2. イーサーネット

● VECTOR

LV 58SER04 (MPEG DECODER)

コマンド	パラメータ 1	説明
VECTOR	-	ベクトル波形を表示

● VECTOR - INTEN/SCALE

LV 58SER04 (MPEG DECODER)

コマンド	パラメータ 1	説明
VECTOR:INTEN:VECTOR	-128~127	ベクトル波形の輝度を設定
	?	ベクトル波形の輝度を問い合わせ
VECTOR:COLOR	WHITE	波形表示色を白色に設定
	GREEN	波形表示色を緑色に設定
	?	波形表示色を問い合わせ
VECTOR:INTEN:SCALE	-8~7	スケールの輝度を設定
	?	スケールの輝度を問い合わせ
VECTOR:SCALE:IQ	ON	IQ 軸を表示
	OFF	IQ 軸を非表示
	?	IQ 軸表示の有無を問い合わせ
VECTOR:SCALE:COLOR	WHITE	スケール表示色を白色に設定
	YELLOW	スケール表示色を黄色に設定
	CYAN	スケール表示色を水色に設定
	GREEN	スケール表示色を緑色に設定
	MAGENTA	スケール表示色を紫色に設定
	RED	スケール表示色を赤色に設定
	BLUE	スケール表示色を青色に設定
	?	スケール表示色を問い合わせ

● VECTOR - GAIN

LV 58SER04 (MPEG DECODER)

コマンド	パラメータ 1	説明
VECTOR:GAIN:VAR	CAL	波形の倍率を固定(×1)に設定
	VAR	波形の倍率を可変(×0.200~×2.000)に設定
	?	波形の倍率形式を問い合わせ
VECTOR:GAIN:VAL	0.200~2.000	波形の可変倍率を設定(倍)
	?	波形の可変倍率を問い合わせ
VECTOR:GAIN:MAG	X1	波形の倍率を×1に設定
	X5	波形の倍率を×5に設定
	IQ	IQ 信号が円周上に乗るように倍率を設定
	?	波形の倍率を問い合わせ

● VECTOR - LINE SELECT

LV 58SER04 (MPEG DECODER)

コマンド	パラメータ 1	説明
VECTOR:LINE_SELECT	ON	ラインセレクト機能を有効にする
	OFF	ラインセレクト機能を無効にする
	?	ラインセレクト機能の問い合わせ
VECTOR:LINE_FIELD	FIELD1	ラインセレクトの選択範囲をフィールド 1 に設定
	FIELD2	ラインセレクトの選択範囲をフィールド 2 に設定
	FRAME	ラインセレクトの選択範囲をフレームに設定
	?	ラインセレクトの選択範囲を問い合わせ
VECTOR:LINE_NUMBER	例) 1~1125 (フォーマット による)	ラインセレクトのラインを設定
	?	ラインセレクトの選択ラインを問い合わせ

● VECTOR - COLOR SYSTEM

LV 58SER04 (MPEG DECODER)

コマンド	パラメータ 1	説明
VECTOR:MATRIX	COMPONENT	カラーマトリックスをコンポーネント表示に設定
	COMPOSITE	カラーマトリックスを疑似コンポジット表示に設定
	?	カラーマトリックスの問い合わせ
VECTOR:MATRIX:COMPOSITE:FORMAT	AUTO	疑似コンポジット表示のとき NTSC、PAL を自動で切換
	NTSC	疑似コンポジット表示のとき NTSC で表示
	PAL	疑似コンポジット表示のとき PAL で表示
	?	疑似コンポジット表示のときのフォーマットを問い合わせ
VECTOR:MATRIX:SETUP	0P	疑似コンポジット表示のときセットアップをなしに設定
	7.5P	疑似コンポジット表示のときセットアップを 7.5% に設定
	?	疑似コンポジット表示のときセットアップの値を問い合わせ
VECTOR:MATRIX:COLORBAR	100P	スケールを 100% カラーバーに合うように設定
	75P	スケールを 75% カラーバーに合うように設定
	?	スケールの種類を問い合わせ

● VECTOR - PERSISTENCE

LV 58SER04 (MPEG DECODER)

コマンド	パラメータ 1	説明
VECTOR:PERSISTENCE	ON	残光表示ありに設定
	OFF	残光表示なしに設定
	INFINIT	波形を重ね書きに設定
	?	残光表示の設定を問い合わせ
VECTOR:PERSIST_CLEAR	-	波形の重ね書きをクリア

2. イーサーネット

● PICTURE

LV 58SER04 (MPEG DECODER)

コマンド	パラメータ 1	説明
PICTURE	-	ピクチャーを表示

● PICTURE - ADJUST

LV 58SER04 (MPEG DECODER)

コマンド	パラメータ 1	説明
PICTURE: BRIGHT	-30~30	ピクチャー表示のブライトネスを設定 (%)
	?	ピクチャー表示のブライトネスを問い合わせ
PICTURE: CONTRAST	0.70~1.30	ピクチャー表示のコントラストを設定 (倍)
	?	ピクチャー表示のコントラストを問い合わせ
PICTURE: GAIN: R	0.70~1.30	R 信号のゲイン倍率を設定 (倍)
	?	R 信号のゲイン倍率を問い合わせ
PICTURE: GAIN: G	0.70~1.30	G 信号のゲイン倍率を設定 (倍)
	?	G 信号のゲイン倍率を問い合わせ
PICTURE: GAIN: B	0.70~1.30	B 信号のゲイン倍率を設定 (倍)
	?	B 信号のゲイン倍率を問い合わせ
PICTURE: BIAS: R	-0.30~0.30	R 信号のバイアスを設定 (×100%)
	?	R 信号のバイアスを問い合わせ
PICTURE: BIAS: G	-0.30~0.30	G 信号のバイアスを設定 (×100%)
	?	G 信号のバイアスを問い合わせ
PICTURE: BIAS: B	-0.30~0.30	B 信号のバイアスを設定 (×100%)
	?	B 信号のバイアスを問い合わせ

● PICTURE - MARKER

LV 58SER04 (MPEG DECODER)

コマンド	パラメータ 1	説明
PICTURE: MARKER: 4_3	ON	4:3 アスペクトマーカを表示する
	OFF	4:3 アスペクトマーカを表示しない
	?	4:3 アスペクトマーカ表示の有無を問い合わせ
PICTURE: MARKER: 16_9	ON	16:9 アスペクトマーカを表示する
	OFF	16:9 アスペクトマーカを表示しない
	?	16:9 アスペクトマーカ表示の有無を問い合わせ
PICTURE: MARKER: SAFE_ACTION	ON	セーフアクションマーカを表示する
	OFF	セーフアクションマーカを表示しない
	?	セーフアクションマーカ表示の有無を問い合わせ
PICTURE: MARKER: SAFE_TITLE	ON	セーフタイトルマーカを表示する
	OFF	セーフタイトルマーカを表示しない
	?	セーフタイトルマーカ表示の有無を問い合わせ
PICTURE: MARKER: CENTER	ON	センターマーカを表示する
	OFF	センターマーカを表示しない
	?	センターマーカ表示の有無を問い合わせ

● PICTURE - LINE SELECT

LV 58SER04 (MPEG DECODER)

コマンド	パラメータ 1	説明
PICTURE:LINE_SELECT	ON	ラインセレクトマーカを表示する
	OFF	ラインセレクトマーカを表示しない
	?	ラインセレクトマーカの問い合わせ
PICTURE:LINE_FIELD	FIELD1	ラインセレクトの選択範囲をフィールド1に設定
	FIELD2	ラインセレクトの選択範囲をフィールド2に設定
	FRAME	ラインセレクトの選択範囲をフレームに設定
	?	ラインセレクトの選択範囲を問い合わせ
PICTURE:LINE_NUMBER	例) 1~1125 (フォーマット による)	ラインセレクトのラインを設定
	?	ラインセレクトの選択ラインを問い合わせ

● PICTURE - DISPLAY

LV 58SER04 (MPEG DECODER)

コマンド	パラメータ 1	説明
PICTURE:SIZE	FIT	ピクチャーサイズを最適化して表示
	REAL	ビデオ信号の1サンプルを画面の1画素で表示
	?	ピクチャーサイズの問い合わせ

● STATUS

LV 58SER04 (MPEG DECODER)

コマンド	パラメータ 1	説明
STATUS	-	ステータス表示を設定

2.4.6 LV 58SER40Aのコマンド (DIGITAL AUDIO)

● UNIT SETUP

LV 58SER40A (DIGITAL AUDIO)

コマンド	パラメータ 1	パラメータ 2	説明
SYS:UNIT:EXT_BNC	1, 2, 3, 4 (※1)	INPUT	全ての背面 BNC を入力に設定
		OUTPUT	全ての背面 BNC を出力に設定
		?	背面 BNC の設定を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:LEVEL_OVER	1, 2, 3, 4	ON	レベルオーバーエラーを検出する
		OFF	レベルオーバーエラーを検出しない
		?	レベルオーバーエラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:CLIP	1, 2, 3, 4	ON	クリップエラーを検出する
		OFF	クリップエラーを検出しない
		?	クリップエラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:CLIP:DURATION	1, 2, 3, 4	1~100	クリップエラーの検出期間を設定 (sample)
		?	クリップエラーの検出期間を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:MUTE	1, 2, 3, 4	ON	ミュートエラーを検出する
		OFF	ミュートエラーを検出しない
		?	ミュートエラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:MUTE:DURATION	1, 2, 3, 4	1~5000	ミュートエラーの検出期間を設定 (ms)
		?	ミュートエラーの検出期間を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:PARITY	1, 2, 3, 4	ON	パリティエラーを検出する
		OFF	パリティエラーを検出しない
		?	パリティエラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:VARIDITY	1, 2, 3, 4	ON	バリディティエラーを検出する
		OFF	バリディティエラーを検出しない
		?	バリディティエラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:CRC	1, 2, 3, 4	ON	CRC エラーを検出する
		OFF	CRC エラーを検出しない
		?	CRC エラー検出の有無を問い合わせ
SYS:UNIT:ERROR:CODE	1, 2, 3, 4	ON	コードバイオレーションエラーを検出する
		OFF	コードバイオレーションエラーを検出しない
		?	コードバイオレーションエラー検出の有無を問い合わせ

※1 LV 58SER40A が装着されているユニット番号を入力してください。

2. イーサーネット

● AUDIO

LV 58SER40A (DIGITAL AUDIO)

コマンド	パラメータ 1	説明
AUDIO	-	オーディオ表示を設定する

● AUDIO - CHANNEL SELECT

LV 58SER40A (DIGITAL AUDIO)

コマンド	パラメータ 1	説明
AUDIO:CH_SEL:NUMBER	8CH	測定チャンネル数を 8ch に設定
	16CH	測定チャンネル数を 16ch に設定
	?	測定チャンネル数の問い合わせ
AUDIO:CH_SEL:DISPLAY	1_8CH	測定チャンネル数が 8ch のとき測定対象を 1~8ch に設定
	9_16CH	測定チャンネル数が 8ch のとき測定対象を 9~16ch に設定
	?	測定チャンネル数が 8ch のときの測定対象を問い合わせ

● AUDIO - DISPLAY MODE

LV 58SER40A (DIGITAL AUDIO)

コマンド	パラメータ 1	説明
AUDIO:DISPLAY_MODE	LISAJOU	リサーチ波形を表示する
	S_IMAGE	音像波形を表示する
	STATUS	オーディオのステータス画面を表示する
	METER	メーター画面を表示する
	LOUDNESS	ラウドネス画面を表示する
	?	オーディオの表示画面を問い合わせ

● AUDIO - METER SETUP

LV 58SER40A (DIGITAL AUDIO)

コマンド	パラメータ 1	説明
AUDIO:METER:D_RANGE	M60DBFS	メーターのスケールを-60~0dBFS に設定
	M90DBFS	メーターのスケールを-90~0dBFS に設定
	?	メーターのスケールを問い合わせ
AUDIO:METER:RESPONSE	TRUE_PEAK	レベルメーターの応答モデルを TRUE PEAK に設定
	PPM	レベルメーターの応答モデルを PPM に設定
	PPM1	レベルメーターの応答モデルを PPM1 に設定
	PPM2	レベルメーターの応答モデルを PPM2 に設定
	VU_TRUE_PEAK	レベルメーターの応答モデルを VU、ピークホールドメーターの応答モデルを TRUE PEAK に設定
	VU_PPM	レベルメーターの応答モデルを VU、ピークホールドメーターの応答モデルを PPM に設定
	VU_PPM1	レベルメーターの応答モデルを VU、ピークホールドメーターの応答モデルを PPM1 に設定
	VU_PPM2	レベルメーターの応答モデルを VU、ピークホールドメーターの応答モデルを PPM2 に設定
	LOUDNESS_F	レベルメーターの応答モデルを LOUDNESS-F に設定
	LOUDNESS_S	レベルメーターの応答モデルを LOUDNESS-S に設定
	?	メーターの応答モデルを問い合わせ

2. イーサーネット

コマンド	パラメータ 1	説明
AUDIO:METER:PEAK_HOLD	0.5SEC	ピークホールドメーターのピーク保持時間を 0.5sec に設定
	1SEC	ピークホールドメーターのピーク保持時間を 1sec に設定
	1.5SEC	ピークホールドメーターのピーク保持時間を 1.5sec に設定
	2SEC	ピークホールドメーターのピーク保持時間を 2sec に設定
	2.5SEC	ピークホールドメーターのピーク保持時間を 2.5sec に設定
	3SEC	ピークホールドメーターのピーク保持時間を 3sec に設定
	3.5SEC	ピークホールドメーターのピーク保持時間を 3.5sec に設定
	4SEC	ピークホールドメーターのピーク保持時間を 4sec に設定
	4.5SEC	ピークホールドメーターのピーク保持時間を 4.5sec に設定
	5SEC	ピークホールドメーターのピーク保持時間を 5sec に設定
	HOLD	ピークホールドメーターのピーク値を保持
?	ピークホールドメーターの保持時間を問い合わせ	
AUDIO:METER:OVER_LEVEL	-40.0~0.0	オーバーレベルを設定 (dBFS)
	?	オーバーレベルを問い合わせ
AUDIO:METER:WARNING_LEVEL	-40.0~0.0	ウォーニングレベルを設定 (dBFS)
	?	ウォーニングレベルを問い合わせ
AUDIO:METER:REF_LEVEL	-40.0~0.0	基準レベルを設定 (dBFS)
	?	基準レベルを問い合わせ

● AUDIO - LISSAJOU SETUP

LV 58SER40A (DIGITAL AUDIO)

コマンド	パラメータ 1	説明
AUDIO:LISSAJOU:INTEN:LISSAJOU	-128~127	リサージュ波形の輝度を設定
	?	リサージュ波形の輝度を問い合わせ
AUDIO:LISSAJOU:INTEN:SCALE	-8~7	スケールの輝度を設定
	?	スケールの輝度を問い合わせ
AUDIO:LISSAJOU:DISPLAY	SINGLE	シングルリサージュ画面を表示
	MULTI	マルチリサージュ画面を表示
	?	リサージュ表示画面を問い合わせ

2. イーサーネット

コマンド	パラメータ 1	説明
AUDIO:LISSAJOU:FORM	X-Y	R 軸を水平、L 軸を垂直に配置
	MATRIX	R 軸、L 軸を X-Y に対して 45° 傾けた位置に配置
	?	R 軸、L 軸の表示方式を問い合わせ
AUDIO:LISSAJOU:AUTO_GAIN	ON	リサージュ波形のゲインを自動調整
	OFF	リサージュ波形のゲインを自動調整しない
	?	リサージュ波形のゲイン自動調整の状態を問い合わせ
AUDIO:LISSAJOU:MAP:SINGLE_L	CH1~CH16	シングルリサージュ波形の L 軸に割り当てるチャンネルを設定
	LT	シングルリサージュ波形の L 軸に割り当てるチャンネルを Lt(ダウンミックス)に設定
	?	シングルリサージュ波形の L 軸に割り当てるチャンネルを問い合わせ
AUDIO:LISSAJOU:MAP:SINGLE_R	CH1~CH16	シングルリサージュ波形の R 軸に割り当てるチャンネルを設定
	RT	シングルリサージュ波形の R 軸に割り当てるチャンネルを Rt(ダウンミックス)に設定
	?	シングルリサージュ波形の R 軸に割り当てるチャンネルを問い合わせ
AUDIO:LISSAJOU:MAP:MULTI_L1	CH1~CH16	マルチリサージュ波形の L1 軸に割り当てるチャンネルを設定
	?	マルチリサージュ波形の L1 軸に割り当てるチャンネルを問い合わせ
AUDIO:LISSAJOU:MAP:MULTI_R1	CH1~CH16	マルチリサージュ波形の R1 軸に割り当てるチャンネルを設定
	?	マルチリサージュ波形の R1 軸に割り当てるチャンネルを問い合わせ
AUDIO:LISSAJOU:MAP:MULTI_L2	CH1~CH16	マルチリサージュ波形の L2 軸に割り当てるチャンネルを設定
	?	マルチリサージュ波形の L2 軸に割り当てるチャンネルを問い合わせ
AUDIO:LISSAJOU:MAP:MULTI_R2	CH1~CH16	マルチリサージュ波形の R2 軸に割り当てるチャンネルを設定
	?	マルチリサージュ波形の R2 軸に割り当てるチャンネルを問い合わせ
AUDIO:LISSAJOU:MAP:MULTI_L3	CH1~CH16	マルチリサージュ波形の L3 軸に割り当てるチャンネルを設定
	?	マルチリサージュ波形の L3 軸に割り当てるチャンネルを問い合わせ
AUDIO:LISSAJOU:MAP:MULTI_R3	CH1~CH16	マルチリサージュ波形の R3 軸に割り当てるチャンネルを設定
	?	マルチリサージュ波形の R3 軸に割り当てるチャンネルを問い合わせ

2. イーサーネット

コマンド	パラメータ 1	説明
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI_L4	CH1~CH16	マルチリサージュ波形の L4 軸に割り当てるチャンネルを設定
	?	マルチリサージュ波形の L4 軸に割り当てるチャンネルを問い合わせ
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI_R4	CH1~CH16	マルチリサージュ波形の R4 軸に割り当てるチャンネルを設定
	?	マルチリサージュ波形の R4 軸に割り当てるチャンネルを問い合わせ
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI_L5	CH1~CH16	マルチリサージュ波形の L5 軸に割り当てるチャンネルを設定
	?	マルチリサージュ波形の L5 軸に割り当てるチャンネルを問い合わせ
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI_R5	CH1~CH16	マルチリサージュ波形の R5 軸に割り当てるチャンネルを設定
	?	マルチリサージュ波形の R5 軸に割り当てるチャンネルを問い合わせ
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI_L6	CH1~CH16	マルチリサージュ波形の L6 軸に割り当てるチャンネルを設定
	?	マルチリサージュ波形の L6 軸に割り当てるチャンネルを問い合わせ
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI_R6	CH1~CH16	マルチリサージュ波形の R6 軸に割り当てるチャンネルを設定
	?	マルチリサージュ波形の R6 軸に割り当てるチャンネルを問い合わせ
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI_L7	CH1~CH16	マルチリサージュ波形の L7 軸に割り当てるチャンネルを設定
	?	マルチリサージュ波形の L7 軸に割り当てるチャンネルを問い合わせ
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI_R7	CH1~CH16	マルチリサージュ波形の R7 軸に割り当てるチャンネルを設定
	?	マルチリサージュ波形の R7 軸に割り当てるチャンネルを問い合わせ
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI_L8	CH1~CH16	マルチリサージュ波形の L8 軸に割り当てるチャンネルを設定
	?	マルチリサージュ波形の L8 軸に割り当てるチャンネルを問い合わせ
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI_R8	CH1~CH16	マルチリサージュ波形の R8 軸に割り当てるチャンネルを設定
	?	マルチリサージュ波形の R8 軸に割り当てるチャンネルを問い合わせ

● AUDIO - S. IMAGE SETUP

LV 58SER40A (DIGITAL AUDIO)

コマンド	パラメータ 1	説明
AUDIO:S_IMAGE:INTEN:S_IMAGE	-128~127	音像波形の輝度を設定
	?	音像波形の輝度を問い合わせ
AUDIO:S_IMAGE:INTEN:SCALE	-8~7	スケールの輝度を設定
	?	スケールの輝度を問い合わせ
AUDIO:S_IMAGE:SURROUND	3_1	音像波形を 3-1 形式で表示
	3_2	音像波形を 3-2 形式で表示
	3_2_2	音像波形を 3-2-2 形式で表示
	?	音像波形の表示形式を問い合わせ
AUDIO:S_IMAGE:AUTO_GAIN	ON	音像波形のゲインを自動調整
	OFF	音像波形のゲインを自動調整しない
	?	音像波形のゲイン自動調整の有無を問い合わせ
AUDIO:S_IMAGE:MAP:L	CH1~CH16	音像波形の L 軸に割り当てるチャンネルを設定
	?	音像波形の L 軸に割り当てるチャンネルを問い合わせ
AUDIO:S_IMAGE:MAP:R	CH1~CH16	音像波形の R 軸に割り当てるチャンネルを設定
	?	音像波形の R 軸に割り当てるチャンネルを問い合わせ
AUDIO:S_IMAGE:MAP:C	CH1~CH16	音像波形の C 軸に割り当てるチャンネルを設定
	?	音像波形の C 軸に割り当てるチャンネルを問い合わせ
AUDIO:S_IMAGE:MAP:LFE	CH1~CH16	音像波形の LFE 軸に割り当てるチャンネルを設定
	?	音像波形の LFE 軸に割り当てるチャンネルを問い合わせ
AUDIO:S_IMAGE:MAP:LS	CH1~CH16	音像波形の LS 軸に割り当てるチャンネルを設定
	?	音像波形の LS 軸に割り当てるチャンネルを問い合わせ
AUDIO:S_IMAGE:MAP:RS	CH1~CH16	音像波形の RS 軸に割り当てるチャンネルを設定
	?	音像波形の RS 軸に割り当てるチャンネルを問い合わせ
AUDIO:S_IMAGE:MAP:LL	CH1~CH16	音像波形の LL 軸に割り当てるチャンネルを設定
	?	音像波形の LL 軸に割り当てるチャンネルを問い合わせ
AUDIO:S_IMAGE:MAP:RR	CH1~CH16	音像波形の RR 軸に割り当てるチャンネルを設定
	?	音像波形の RR 軸に割り当てるチャンネルを問い合わせ

● AUDIO - STATUS SETUP

LV 58SER40A (DIGITAL AUDIO)

コマンド	パラメータ 1	説明
AUDIO:STATUS:DISPLAY	DEFAULT	ステータス画面を表示
	CH_STATUS	チャンネルステータス画面を表示
	USER_BIT	ユーザービット画面を表示
	?	ステータス画面の表示形式を問い合わせ
AUDIO:DOLBY:E_META_PRM	PRM1~PRM8	Dolby E 信号のメタデータを表示するプログラム番号を設定
	?	Dolby E 信号のメタデータを表示するプログラム番号を問い合わせ
AUDIO:DOLBY:EBI_META_PRM	PRM1~PRM8	Dolby E 信号の EBI メタデータを表示するプログラム番号を設定
	?	Dolby E 信号の EBI メタデータを表示するプログラム番号を問い合わせ
AUDIO:STATUS:CH_STATUS	CH1~CH16	チャンネルステータス画面のチャンネルを設定
	?	チャンネルステータス画面のチャンネルを問い合わせ
AUDIO:STATUS:STATUS_ALIGN	LSB1ST	チャンネルステータスビットを LSB から表示
	MSB1ST	チャンネルステータスビットを MSB から表示
	?	チャンネルステータスビットの表示順を問い合わせ
AUDIO:STATUS:USER_BIT	CH1~CH16	ユーザービット画面のチャンネルを設定
	?	ユーザービット画面のチャンネルを問い合わせ
AUDIO:STATUS:USER_ALIGN	LSB1ST	ユーザービットを LSB から表示
	MSB1ST	ユーザービットを MSB から表示
	?	ユーザービットの表示順を問い合わせ
AUDIO:STATUS:ERROR_RESET	-	ステータス画面のエラーを 0 にリセット

● AUDIO - LOUDNESS SETUP

LV 58SER40A (DIGITAL AUDIO)

コマンド	パラメータ 1	説明
AUDIO:LOUD:PERIOD	2MIN	測定時間を 2 分に設定
	10MIN	測定時間を 10 分に設定
	30MIN	測定時間を 30 分に設定
	1HOUR	測定時間を 1 時間に設定
	2HOUR	測定時間を 2 時間に設定
	?	測定時間を問い合わせ
AUDIO:LOUD:CHART_CLEAR	-	チャートをクリアする
AUDIO:LOUD:MEASURE	STOP	ラウドネス測定を停止する
	START	ラウドネス測定を開始する
	?	ラウドネス測定の状態を問い合わせ
AUDIO:LOUD:MAG	OFF	スケール MAG を無効にする
	ON	スケール MAG を有効にする
	?	スケール MAG の状態を問い合わせ

2. イーサーネット

コマンド	パラメータ 1	説明
AUDIO:LOUD:INTEG:MODE	BS1770_2	測定モードを BS1770-2 に設定
	ARIB	測定モードを ARIB に設定
	EBU	測定モードを EBU に設定
	ATSC	測定モードを ATSC に設定
	?	測定モードを問い合わせ
AUDIO:LOUD:INTEG:LFE_GAIN	OFF	LFE を無効にする
	ON	LFE を有効にする
	?	LFE の状態を問い合わせ
AUDIO:LOUD:INTEG:LFE_GAIN:VALUE	0~10	LFE の倍率を設定する
	?	LFE の倍率を問い合わせ
AUDIO:LOUD:SHORT:AVRG_TIME	200~10000	ショートタームラウドネスの測定時間を設定 (100 ステップ)
	?	ショートタームラウドネスの測定時間を問い合わせ
AUDIO:LOUD:MOMENT:AVRG_TIME	200~10000	モーメンタリラウドネスの測定時間を設定 (100 ステップ)
	?	モーメンタリラウドネスの測定時間を問い合わせ
AUDIO:LOUD:RESPONSE	SHORTTERM	応答モデルをショートタームに設定
	MOMENTARY	応答モデルをモーメンタリに設定
	?	応答モデルを問い合わせ
AUDIO:LOUD:AUTO:TRIGGER	OFF	手動でラウドネス測定する
	REMOTE	リモート端子でラウドネス測定する
	TIMECODE	タイムコードでラウドネス測定する
	MUTE	入力信号でラウドネス測定する
	?	ラウドネスの測定方法を問い合わせ
AUDIO:LOUD:AUTO_START:H	0~23	タイムコードの開始時を設定
	?	タイムコードの開始時を問い合わせ
AUDIO:LOUD:AUTO_START:M	0~59	タイムコードの開始分を設定
	?	タイムコードの開始分を問い合わせ
AUDIO:LOUD:AUTO_START:S	0~59	タイムコードの開始秒を設定
	?	タイムコードの開始秒を問い合わせ
AUDIO:LOUD:AUTO_END:H	0~23	タイムコードの終了時を設定
	?	タイムコードの終了時を問い合わせ
AUDIO:LOUD:AUTO_END:M	0~59	タイムコードの終了分を設定
	?	タイムコードの終了分を問い合わせ
AUDIO:LOUD:AUTO_END:S	0~59	タイムコードの終了秒を設定
	?	タイムコードの終了秒を問い合わせ
AUDIO:LOUD:MAP:MODE:MAIN	MONO	メインラウドネスの測定チャンネルを MONO に設定
	STEREO	メインラウドネスの測定チャンネルをステレオに設定
	5_1	メインラウドネスの測定チャンネルを 5.1 に設定
	CUSTOM	メインラウドネスの測定チャンネルをカスタムに設定
	?	メインラウドネスの測定チャンネルを問い合わせ

2. イーサーネット

コマンド	パラメータ 1	説明
AUDIO:LOUD:MAP:MODE:SUB	OFF	サブラウドネスを測定しない
	MONO	サブラウドネスの測定チャンネルを MONO に設定
	STEREO	サブラウドネスの測定チャンネルをステレオに設定
	?	サブラウドネスの測定チャンネルを問い合わせ
AUDIO:LOUD:MAP:L	CH1~CH16	Lch に割り当てるチャンネルを選択
	NON	Lch にチャンネルを割り当てない
	?	Lch に割り当てるチャンネルをを問い合わせ
AUDIO:LOUD:MAP:R	CH1~CH16	Rch に割り当てるチャンネルを選択
	NON	Rch にチャンネルを割り当てない
	?	Rch に割り当てるチャンネルをを問い合わせ
AUDIO:LOUD:MAP:C	CH1~CH16	Cch に割り当てるチャンネルを選択
	NON	Cch にチャンネルを割り当てない
	?	Cch に割り当てるチャンネルをを問い合わせ
AUDIO:LOUD:MAP:LFE	CH1~CH16	LFEch に割り当てるチャンネルを選択
	NON	LFEch にチャンネルを割り当てない
	?	LFEch に割り当てるチャンネルをを問い合わせ
AUDIO:LOUD:MAP:LS	CH1~CH16	Lsch に割り当てるチャンネルを選択
	NON	Lsch にチャンネルを割り当てない
	?	Lsch に割り当てるチャンネルをを問い合わせ
AUDIO:LOUD:MAP:RS	CH1~CH16	Rsch に割り当てるチャンネルを選択
	NON	Rsch にチャンネルを割り当てない
	?	Rsch に割り当てるチャンネルをを問い合わせ
AUDIO:LOUD:MAP:RL	CH1~CH16	サブの Lch に割り当てるチャンネルを選択
	?	サブの Lch に割り当てるチャンネルをを問い合わせ
AUDIO:LOUD:MAP:RR	CH1~CH16	サブの Rch に割り当てるチャンネルを選択
	?	サブの Rch に割り当てるチャンネルをを問い合わせ
AUDIO:LOUD:SHORTTERM:DATA:MAIN	-	メインのショートタームラウドネスを問い合わせ
AUDIO:LOUD:INTEGRATED:DATA:MAIN	-	メインのロングタームラウドネスを問い合わせ
AUDIO:LOUD:MOMENTARY:DATA:MAIN	-	メインのモーメンタリラウドネスを問い合わせ
AUDIO:LOUD:SHORTTERM:DATA:SUB	-	サブのショートタームラウドネスを問い合わせ
AUDIO:LOUD:INTEGRATED:DATA:SUB	-	サブのロングタームラウドネスを問い合わせ
AUDIO:LOUD:MOMENTARY:DATA:SUB	-	サブのモーメンタリラウドネスを問い合わせ
AUDIO:LOUD:PEAKHOLD:DATA:L	-	Lch のピークレベルを問い合わせ
AUDIO:LOUD:PEAKHOLD:DATA:R	-	Rch のピークレベルを問い合わせ
AUDIO:LOUD:PEAKHOLD:DATA:C	-	Cch のピークレベルを問い合わせ
AUDIO:LOUD:PEAKHOLD:DATA:LFE	-	LFEch のピークレベルを問い合わせ
AUDIO:LOUD:PEAKHOLD:DATA:LS	-	Lsch のピークレベルを問い合わせ
AUDIO:LOUD:PEAKHOLD:DATA:RS	-	Rsch のピークレベルを問い合わせ
AUDIO:LOUD:PEAKHOLD:DATA:SL	-	サブの Lch のピークレベルを問い合わせ
AUDIO:LOUD:PEAKHOLD:DATA:SR	-	サブの Rch のピークレベルを問い合わせ

● AUDIO - PHONES SETUP

LV 58SER40A (DIGITAL AUDIO)

コマンド	パラメータ 1	説明
AUDIO:PHONES:VOLUME	-128~127	ヘッドホン出力の音量を設定
	?	ヘッドホン出力の音量を問い合わせ
AUDIO:PHONES:L_R_CH	1_2	ヘッドホン出力の Lch に 1ch、Rch に 2ch を割り当て
	3_4	ヘッドホン出力の Lch に 3ch、Rch に 4ch を割り当て
	5_6	ヘッドホン出力の Lch に 5ch、Rch に 6ch を割り当て
	7_8	ヘッドホン出力の Lch に 7ch、Rch に 8ch を割り当て
	9_10	ヘッドホン出力の Lch に 9ch、Rch に 10ch を割り当て
	11_12	ヘッドホン出力の Lch に 11ch、Rch に 12ch を割り当て
	13_14	ヘッドホン出力の Lch に 13ch、Rch に 14ch を割り当て
	15_16	ヘッドホン出力の Lch に 15ch、Rch に 16ch を割り当て
	LT_RT	ヘッドホン出力の Lch に LT、Rch に RT を割り当て
	AUX1_AUX2	ヘッドホン出力の Lch に AUX1、Rch に AUX2 を割り当て
AUDIO:DOLBY:AUX_CH	LTRT	AUX CH の機能を LtRt に設定
	LORO	AUX CH の機能を LoRo に設定
	MONO	AUX CH の機能を MONO に設定
	MUTE	AUX CH の機能を MUTE に設定
	?	AUX CH の機能を問い合わせ
AUDIO:DOLBY:AUX_CH_DRC	LINE	AUX CH のダイナミックレンジコントロールを LINE に設定
	RF	AUX CH のダイナミックレンジコントロールを RF に設定
	?	AUX CH のダイナミックレンジコントロールを問い合わせ

● AUDIO - DOLBY-E SETUP

LV 58SER40A (DIGITAL AUDIO)

コマンド	パラメータ 1	説明
AUDIO:DOLBY	AC3	動作モードをドルビーデジタル(AC-3)に設定する
	E	動作モードをドルビーEに設定する
	OFF	動作モードをPCMに設定する
	?	動作モードの問い合わせ
AUDIO:DOLBY:GROUP	1_2	デコードチャンネルを ch1/2 に設定する
	3_4	デコードチャンネルを ch3/4 に設定する
	5_6	デコードチャンネルを ch5/6 に設定する
	7_8	デコードチャンネルを ch7/8 に設定する
	9_10	デコードチャンネルを ch9/10 に設定する
	11_12	デコードチャンネルを ch11/12 に設定する
	13_14	デコードチャンネルを ch13/14 に設定する
	15_16	デコードチャンネルを ch15/16 に設定する
?	デコードチャンネルの問い合わせ	
AUDIO:DOLBY:E_DIALNORM	ON	Dolby E 信号のダイアログノーマライゼーションをオンに設定
	OFF	Dolby E 信号のダイアログノーマライゼーションをオフに設定
	?	Dolby E 信号のダイアログノーマライゼーションのオンオフを問い合わせ
AUDIO:DOLBY:E_PULLDOWN	ON	Dolby E 信号のプルダウンをオンに設定
	OFF	Dolby E 信号のプルダウンをオフに設定
	?	Dolby E 信号のプルダウンのオンオフを問い合わせ
AUDIO:DOLBY:D_LISTENING	FULL	Dolby Digital 信号のリスニングモードを FULL に設定
	EX	Dolby Digital 信号のリスニングモードを EX に設定
	3STEREO	Dolby Digital 信号のリスニングモードを 3stereo に設定
	PHANTOM	Dolby Digital 信号のリスニングモードを PHANTOM に設定
	STEREO	Dolby Digital 信号のリスニングモードを STEREO に設定
	MONO	Dolby Digital 信号のリスニングモードを MONO に設定
	?	Dolby Digital 信号のリスニングモードを問い合わせ
AUDIO:DOLBY:D_PROLOGIC	ON	Dolby Digital 信号のプロロジックをオンに設定
	OFF	Dolby Digital 信号のプロロジックをオフに設定
	?	Dolby Digital 信号のプロロジックのオンオフを問い合わせ
AUDIO:DOLBY:D_DRC	BYPASS	Dolby Digital 信号のダイナミックレンジコントロールを BYPASS に設定
	LINE	Dolby Digital 信号のダイナミックレンジコントロールを LINE に設定
	RF	Dolby Digital 信号のダイナミックレンジコントロールを RF に設定
	?	Dolby Digital 信号のダイナミックレンジコントロールを問い合わせ

● AUDIO - INPUT SELECT

LV 58SER40A (DIGITAL AUDIO)

コマンド	パラメータ 1	説明
AUDIO: INPUT_SELECT	DIGITAL	デジタルオーディオ信号を測定
	ANALOG	アナログオーディオ信号を測定
	?	測定オーディオ信号の種類を問い合わせ

2.5 FTPコマンド

FTP で各ファイルを取り込むには、TELNET コマンドで MAKE コマンドを実行してから、FTP コマンドを実行してください。

例) イベントログのテキストファイルをコンピュータに取り込む操作

1. TELNET を起動し、TELNET コマンドで「MAKE LOG」を実行する。
2. FTP を起動し、FTP コマンドで「GET」を実行する。

コマンド	パラメータ 1	パラメータ 2	説明
GET	LOG. TXT	例) D:¥LOG. TXT (外部記憶装置に保存するファイル名)	エラーログをテキストファイルで取り込み
	DUMP. TXT	例) D:¥DUMP. TXT (外部記憶装置に保存するファイル名)	データダンプをテキストファイルで取り込み (SDI INPUT のみ)
	CAPTURE. FRM	例) D:¥CAPTURE. FRM (外部記憶装置に保存するファイル名)	フレームキャプチャ画面をバイナリファイルで取り込み (SDI INPUT のみ)
	CAPTURE. BMP	例) D:¥CAPTURE. BMP (外部記憶装置に保存するファイル名)	スクリーンキャプチャ画面をビットマップファイルで取り込み
	CAPTURE. DPX	例) D:¥CAPTURE. DPX (外部記憶装置に保存するファイル名)	フレームキャプチャ画面を DPX 形式で取り込み (SDI INPUT のみ)
	CAPTURE. TIF	例) D:¥CAPTURE. TIF (外部記憶装置に保存するファイル名)	フレームキャプチャ画面を TIF 形式で取り込み (SDI INPUT のみ)

3. SNMP

3.1 概要

SNMP(Simple Network Management Protocol)を使用して、本製品の制御と SDI 信号のエラー通知を行えます。以下、SNMP を使用する際の機器側の設定と MIB(Management Information Base)を中心に記載します。

3.2 SNMP対応バージョン

本製品は SNMPv1 へ対応しています。

3.3 セットアップ

3.3.1 SNMPマネージャの設定

SNMP を使用し、パーソナルコンピューター等で本製品を管理する場合は、SNMP マネージャのアプリケーションソフトが必要となります。

(本製品には、SNMP マネージャのアプリケーションソフトは付属していません)

マネージャの使用方法は、お使いの SNMP マネージャの取扱説明書をご覧ください。

- コミュニティ名

Read community: LDRUser

Write community: LDRAdm

- SMI 定義

IMPORTS

MODULE-IDENTITY, OBJECT-TYPE, NOTIFICATION-TYPE, enterprises

FROM SNMPv2-SMI

DisplayString

FROM SNMPv2-TC

OBJECT-GROUP, MODULE-COMPLIANCE

FROM SNMPv2-CONF;

3.3.2 本体の設定

1. IP アドレスを設定してください。
2. 本体の電源を切り、再起動してください。
3. SNMP マネージャから GET, SET 操作を行える事を確認してください。
4. SNMP マネージャから SET 操作を行い、下記 MIB 項目へ SNMP マネージャの IP アドレスを設定してください。

リンク先は 4 カ所まで可能です。なお、「1」は数字の 1、「l」はアルファベットのエル (小文字)、「I」はアルファベットのアイ (大文字) を表しています。

・ TRAP 送信先 1 の IP アドレス

```
1.3.6.1.4.1.leader(20111).lv5800(10).lv5800ST1(1).l10trapTBL(9).
l10trapIpTBL(2).l10trapIp1TBL(1).l10trapManagerIp1(1).0
```

・ TRAP 送信先 2 の IP アドレス

```
1.3.6.1.4.1.leader(20111).lv5800(10).lv5800ST1(1).l10trapTBL(9).
l10trapIpTBL(2).l10trapIp2TBL(2).l10trapManagerIp2(1).0
```

・ TRAP 送信先 3 の IP アドレス

```
1.3.6.1.4.1.leader(20111).lv5800(10).lv5800ST1(1).l10trapTBL(9).
l10trapIpTBL(2).l10trapIp3TBL(3).l10trapManagerIp3(1).0
```

・ TRAP 送信先 4 の IP アドレス

```
1.3.6.1.4.1.leader(20111).lv5800(10).lv5800ST1(1).l10trapTBL(9).
l10trapIpTBL(2).l10trapIp4TBL(4).l10trapManagerIp4(1).0
```

有効にしたい送信先に下記 MIB 項目を設定し、送信先を有効にしてください。

・ TRAP 送信先 1 の有効 (ENABLE:1) / 無効 (DISABLE:2)

```
1.3.6.1.4.1.leader(20111).lv5800(10).lv5800ST1(1).l10trapTBL(9).
l10trapIpTBL(2).l10trapIp1TBL(1).l10trapManagerIp1Act(2).0
```

・ TRAP 送信先 2 の有効 (ENABLE:1) / 無効 (DISABLE:2)

```
1.3.6.1.4.1.leader(20111).lv5800(10).lv5800ST1(1).l10trapTBL(9).
l10trapIpTBL(2).l10trapIp2TBL(2).l10trapManagerIp2Act(2).0
```

・ TRAP 送信先 3 の有効 (ENABLE:1) / 無効 (DISABLE:2)

```
1.3.6.1.4.1.leader(20111).lv5800(10).lv5800ST1(1).l10trapTBL(9).
l10trapIpTBL(2).l10trapIp3TBL(3).l10trapManagerIp3Act(2).0
```

・ TRAP 送信先 4 の有効 (ENABLE:1) / 無効 (DISABLE:2)

```
1.3.6.1.4.1.leader(20111).lv5800(10).lv5800ST1(1).l10trapTBL(9).
l10trapIpTBL(2).l10trapIp4TBL(4).l10trapManagerIp4Act(2).0
```

使用しない送信先は必ず「無効 (DISABLE)」にしてください。通信負荷の原因となります。送信先の有効 / 無効項目の初期値は「無効 (DISABLE)」です。

5. 本体を再起動してください。
6. 本体起動時に SNMP 標準 TRAP 「coldStart (0)」 が送信されます。
SNMP マネージャで TRAP が受信出来たか確認してください。

3.4 MIB

本製品にて使用する MIB(management Information Base)について説明します。

表中の「ACCESS」の意味は以下の通りです。

R/O	SNMP マネージャより取得のみ可能な情報
R/W	SNMP マネージャより取得と設定が可能な情報
R/WO	SNMP マネージャより取得と設定が可能な情報 ただし、取得データは意味のない固定値です

3.4.1 標準MIB

本器は下記の標準 MIB を使用します。

- RFC1213 (MIB-II)
- RFC1354 (IP Forwarding Table MIB)

本バージョンでは、実装されていないオブジェクトがありますので注意してください。
(「SUPPORT」覧が×のもの)

表中の「SUPPORT」の意味は以下の通りです。

○	本来の定義のままサポート
△	本来は読み書き可能だが、本機器では読み込みのみサポート
×	サポートしていない

3. SNMP

● system グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	SUPPORT
sysDescr	system. 1	DisplayString	R/O	○
sysObjectID	system. 2	ObjectID	R/O	○
sysUpTime	system. 3	TimeTicks	R/O	○
sysContact (※1)	system. 4	DisplayString	R/W	○
sysName (※1)	system. 5	DisplayString	R/W	○
sysLocation (※1)	system. 6	DisplayString	R/W	○
sysServices	system. 7	INTEGER	R/O	○

※1 40 バイト以下に設定してください

● interface グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	SUPPORT
ifNumber	interfaces. 1	INTEGER	R/O	○
ifTable	interfaces. 2	Aggregate	--	○
ifEntry	ifTable. 1	Aggregate	--	○
ifIndex	ifEntry. 1	INTEGER	R/O	○
ifDescr	ifEntry. 2	DisplayString	R/O	○
ifType	ifEntry. 3	INTEGER	R/O	○
ifMtu	ifEntry. 4	INTEGER	R/O	○
ifSpeed	ifEntry. 5	Gauge	R/O	○
ifPhysAddress	ifEntry. 6	OctetString	R/O	○
ifAdminStatus	ifEntry. 7	INTEGER	R/O	△
ifOperStatus	ifEntry. 8	INTEGER	R/O	△
ifLastChange	ifEntry. 9	TimeTicks	R/O	○
ifInOctets	ifEntry. 10	Counter	R/O	○
ifInUcastPkts	ifEntry. 11	Counter	R/O	○
ifInNUcastPkts	ifEntry. 12	Counter	R/O	○
ifInDiscards	ifEntry. 13	Counter	R/O	○
ifInErrors	ifEntry. 14	Counter	R/O	○
ifInUnknownProtos	ifEntry. 15	Counter	R/O	○
ifOutOctets	ifEntry. 16	Counter	R/O	○
ifOutUcastPkts	ifEntry. 17	Counter	R/O	○
ifOutNUcastPkts	ifEntry. 18	Counter	R/O	○
ifOutDiscards	ifEntry. 19	Counter	R/O	○
ifOutErrors	ifEntry. 20	Counter	R/O	○
ifOutQLen	ifEntry. 21	Gauge	R/O	○
ifSpecific	ifEntry. 22	ObjectID	R/O	○

● ip グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	SUPPORT
ipForwarding	ip. 1	INTEGER	R/0	○
ipDefaultTTL	ip. 2	INTEGER	R/0	○
ipInReceives	ip. 3	Counter	R/0	○
ipInHdrErrors	ip. 4	Counter	R/0	○
ipInAddrErrors	ip. 5	Counter	R/0	○
ipForwDatagrams	ip. 6	Counter	R/0	○
ipInUnknownProtos	ip. 7	Counter	R/0	○
ipInDiscards	ip. 8	Counter	R/0	○
ipInDelivers	ip. 9	Counter	R/0	○
ipOutRequests	ip. 10	Counter	R/0	○
ipOutDiscards	ip. 11	Counter	R/0	○
ipOutNoRoutes	ip. 12	Counter	R/0	○
ipReasmTimeout	ip. 13	INTEGER	R/0	○
ipReasmReqds	ip. 14	Counter	R/0	○
ipReasmOKs	ip. 15	Counter	R/0	○
ipReasmFails	ip. 16	Counter	R/0	○
ipFragOKs	ip. 17	Counter	R/0	○
ipFragFails	ip. 18	Counter	R/0	○
ipFragCreates	ip. 19	Counter	R/0	○
ipAddrTable	ip. 20	Aggregate	--	○
ipAddrEntry	ipAddrTable. 1	Aggregate	--	○
ipAdEntAddr	ipAddrEntry. 1	IpAddress	R/0	○
ipAdEntIfIndex	ipAddrEntry. 2	INTEGER	R/0	○
ipAdEntNetMask	ipAddrEntry. 3	IpAddress	R/0	○
ipAdEntBcastAddr	ipAddrEntry. 4	INTEGER	R/0	○
ipAdEntReasmMaxSize	ipAddrEntry. 5	INTEGER	R/0	○
ipNetToMediaTable	ip. 22	Aggregate	--	○
ipNetToMediaEntry	ipNetToMediaTable. 1	Aggregate	--	○
ipNetToMediaIfIndex	ipNetToMediaEntry. 1	INTEGER	R/0	△
ipNetToMediaPhysAddress	ipNetToMediaEntry. 2	OctetString	R/0	△
ipNetToMediaNetAddress	ipNetToMediaEntry. 3	IpAddress	R/0	△
ipNetToMediaType	ipNetToMediaEntry. 4	INTEGER	R/0	△
ipRoutingDiscards	ip. 23	Counter	R/0	○
ipForward	ip. 24	Aggregate	--	○
ipForwardNumber	ipForward. 1	Gauge	R/0	○
ipForwardTable	ipForward. 2	Aggregate	--	○
ipForwardDest	ipForwardTable. 1	IpAddress	R/0	○
ipForwardMask	ipForwardTable. 1	IpAddress	R/0	○
ipForwardPolicy	ipForwardTable. 1	INTEGER	R/0	×
ipForwardNextHop	ipForwardTable. 1	IpAddress	R/0	○
ipForwardIfIndex	ipForwardTable. 1	INTEGER	R/0	○
ipForwardType	ipForwardTable. 1	INTEGER	R/0	×
ipForwardProto	ipForwardTable. 1	INTEGER	R/0	×
ipForwardAge	ipForwardTable. 1	INTEGER	R/0	×
ipForwardInfo	ipForwardTable. 1	ObjectID	R/0	×
ipForwardNextHopAS	ipForwardTable. 1	INTEGER	R/0	×
ipForwardMetric1	ipForwardTable. 1	INTEGER	R/0	×
ipForwardMetric2	ipForwardTable. 1	INTEGER	R/0	×
ipForwardMetric3	ipForwardTable. 1	INTEGER	R/0	×
ipForwardMetric4	ipForwardTable. 1	INTEGER	R/0	×
ipForwardMetric5	ipForwardTable. 1	INTEGER	R/0	×

3. SNMP

● icmp グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	SUPPORT
icmpInMsgs	icmp. 1	Counter	R/0	○
icmpInErrors	icmp. 2	Counter	R/0	○
icmpInDestUnreachs	icmp. 3	Counter	R/0	○
icmpInTimeExcds	icmp. 4	Counter	R/0	○
icmpInParmProbs	icmp. 5	Counter	R/0	○
icmpInSrcQuenchs	icmp. 6	Counter	R/0	○
icmpInRedirects	icmp. 7	Counter	R/0	○
icmpInEchos	icmp. 8	Counter	R/0	○
icmpInEchoReps	icmp. 9	Counter	R/0	○
icmpInTimestamps	icmp. 10	Counter	R/0	○
icmpInTimestampReps	icmp. 11	Counter	R/0	○
icmpInAddrMasks	icmp. 12	Counter	R/0	○
icmpInAddrMaskReps	icmp. 13	Counter	R/0	○
icmpOutMsgs	icmp. 14	Counter	R/0	○
icmpOutErrors	icmp. 15	Counter	R/0	○
icmpOutDestUnreachs	icmp. 16	Counter	R/0	○
icmpOutTimeExcds	icmp. 17	Counter	R/0	○
icmpOutParmProbs	icmp. 18	Counter	R/0	○
icmpOutSrcQuenchs	icmp. 19	Counter	R/0	○
icmpOutRedirects	icmp. 20	Counter	R/0	○
icmpOutEchos	icmp. 21	Counter	R/0	○
icmpOutEchoReps	icmp. 22	Counter	R/0	○
icmpOutTimestamps	icmp. 23	Counter	R/0	○
icmpOutTimestampReps	icmp. 24	Counter	R/0	○
icmpOutAddrMasks	icmp. 25	Counter	R/0	○
icmpOutAddrMaskReps	icmp. 26	Counter	R/0	○

● tcp グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	SUPPORT
tcpRtoAlgo rithm	tcp. 1	INTEGER	R/0	○
tcpRtoMin	tcp. 2	INTEGER	R/0	○
tcpRtoMax	tcp. 3	INTEGER	R/0	○
tcpMaxConn	tcp. 4	INTEGER	R/0	○
tcpActiveOpens	tcp. 5	Counter	R/0	○
tcpPassiveOpens	tcp. 6	Counter	R/0	○
tcpAttemptFails	tcp. 7	Counter	R/0	○
tcpEstabResets	tcp. 8	Counter	R/0	○
tcpCurrEstab	tcp. 9	Gauge	R/0	○
tcpInSegs	tcp. 10	Counter	R/0	○
tcpOutSegs	tcp. 11	Counter	R/0	○
tcpRetransSegs	tcp. 12	Counter	R/0	○
tcpConnTable	tcp. 13	Aggregate	--	○
tcpConnEntry	tcpConnTable. 1	Aggregate	--	○
tcpConnState	tcpConnEntry. 1	INTEGER	R/0	△
tcpConnLocalAddress	tcpConnEntry. 2	IpAddress	R/0	○
tcpConnLocalPort	tcpConnEntry. 3	INTEGER	R/0	○
tcpConnRemAddress	tcpConnEntry. 4	IpAddress	R/0	○
tcpConnRemPort	tcpConnEntry. 5	INTEGER	R/0	○
tcpInErrs	tcp. 14	Counter	R/0	○
tcpOutRsts	tcp. 15	Counter	R/0	○

3. SNMP

● udp グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	SUPPORT
udpInDatagrams	udp. 1	Counter	R/0	○
udpNoPorts	udp. 2	Counter	R/0	○
udpInErrors	udp. 3	Counter	R/0	○
udpOutDatagrams	udp. 4	Counter	R/0	○
udpTable	udp. 5	Aggregate	--	○
udpEntry	udpTable. 1	Aggregate	--	○
udpLocalAddress	udpEntry. 1	IpAddress	R/0	○
udpLocalPort	udpEntry. 2	INTEGER	R/0	○

● snmp グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	SUPPORT
snmpInPkts	snmp. 1	Counter	R/0	○
snmpOutPkts	snmp. 2	Counter	R/0	○
snmpInBadVersions	snmp. 3	Counter	R/0	○
snmpInBadCommunityNames	snmp. 4	Counter	R/0	○
snmpInBadCommunityUses	snmp. 5	Counter	R/0	○
snmpInASNParseErrs	snmp. 6	Counter	R/0	○
snmpInTooBigs	snmp. 8	Counter	R/0	○
snmpInNoSuchNames	snmp. 9	Counter	R/0	○
snmpInBadValues	snmp. 10	Counter	R/0	○
snmpInReadOnly	snmp. 11	Counter	R/0	○
snmpInGenErrs	snmp. 12	Counter	R/0	○
snmpInTotalReqVars	snmp. 13	Counter	R/0	○
snmpInTotalSetVars	snmp. 14	Counter	R/0	○
snmpInGetRequests	snmp. 15	Counter	R/0	○
snmpInGetNexts	snmp. 16	Counter	R/0	○
snmpInSetRequests	snmp. 17	Counter	R/0	○
snmpInGetResponses	snmp. 18	Counter	R/0	○
snmpInTraps	snmp. 19	Counter	R/0	○
snmpOutTooBigs	snmp. 20	Counter	R/0	○
snmpOutNoSuchNames	snmp. 21	Counter	R/0	○
snmpOutBadValues	snmp. 22	Counter	R/0	○
snmpOutGenErrs	snmp. 24	Counter	R/0	○
snmpOutGetRequests	snmp. 25	Counter	R/0	○
snmpOutGetNexts	snmp. 26	Counter	R/0	○
snmpOutSetRequests	snmp. 27	Counter	R/0	○
snmpOutGetResponses	snmp. 28	Counter	R/0	○
snmpOutTraps	snmp. 29	Counter	R/0	○
snmpEnableAuthenTraps	snmp. 30	IpAddress	R/W	○

3.4.2 拡張MIB

● 企業番号

リーダー電子の企業番号(Enterprise Number)は「20111」です。

```
iso(1).org(3).dod(6).internet(1).private(4).enterprises(1).leader(20111)
```

● 拡張 MIB ファイル取得

FTPを使用して、本体よりダウンロードしてください。

ファイル名は「lv5800.my」です。

FTPの使用方法は「2.2 FTPによるファイル転送」を参照してください。

● 拡張 MIB 構造

拡張 MIB 構造を以下に示します。各オプションボードが装着されていない製品では、オプション用の MIB は制御できません。

```
leader    OBJECT IDENTIFIER ::= { enterprises 20111 }
lv5800    OBJECT IDENTIFIER ::= { leader 10 }
lv5800ST1 OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5800 1 }
basic     OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5800ST1 1 }    <-- 基本操作
system    OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5800ST1 2 }    <-- SYSTEM メニュー
wfm       OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5800ST1 3 }    <-- WFM メニュー
vector    OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5800ST1 4 }    <-- VECTOR メニュー
picture   OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5800ST1 5 }    <-- PICTURE メニュー
audio     OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5800ST1 6 }    <-- AUDIO メニュー
status    OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5800ST1 7 }    <-- STATUS メニュー
eye       OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5800ST1 8 }    <-- EYE メニュー
trap      OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5800ST1 9 }    <-- Trap 情報
```

● 拡張 MIB 一覧表

拡張 MIB のツリー構造を以下に示します。下表中プリフィックスの「l10」は「L10」の小文字です。

```
leader OBJECT IDENTIFIER ::= { enterprises 20111 }
lv5800 OBJECT IDENTIFIER ::= { leader 10 }
lv5800ST1 OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5800 1 }
l10basicTBL OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5800ST1 1 }
l10systemTBL OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5800ST1 2 }
l10wfmTBL OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5800ST1 3 }
l10vectorTBL OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5800ST1 4 }
l10pictureTBL OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5800ST1 5 }
l10audioTBL OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5800ST1 6 }
l10statusTBL OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5800ST1 7 }
l10eyeTBL OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5800ST1 8 }
l10trapTBL OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5800ST1 9 }
```

3. SNMP

● l10basicTBL (1) グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l10basDisplay	l10basicTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = display1 2 = display2 3 = display3 4 = display4
l10basMulti	l10basicTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = on 2 = off
l10basInputTBL	l10basicTBL. 3	Aggregate	--	--
l10basInputUnit	l10basInputTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = unit1 2 = unit2 3 = unit3 4 = unit4
l10basInputCh	l10basInputTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = A 2 = B
l10basMode	l10basicTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = WFM 2 = Vector 3 = Picture 4 = Audio 5 = Status 6 = Eye
l10basExt	l10basicTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = INT 2 = EXT
l10basRecall	l10basicTBL. 6	INTEGER	R/WO	1 ~ 60
l10basFileTBL	l10basicTBL. 7	Aggregate	--	--
l10basFileMakeLog	l10basFileTBL. 1	INTEGER	R/WO	1 = Make Log
l10basFileMakeDump	l10basFileTBL. 2	INTEGER	R/WO	1 = Make Dump
l10basFileMakeCapture	l10basFileTBL. 3	INTEGER	R/WO	1 = Make Capture

3. SNMP

● l10systemTBL (2) グループ

LV 5800 (A) (MULTI MONITOR)

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l10sysUnitTBL	l10systemTBL. 1	Aggregate	--	--
l10sysUnitSetup (※1)	l10sysUnitTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = unit1 2 = unit2 3 = unit3 4 = unit4 5 = unit5 6 = unit6
l10sysUnit1Info	l10sysUnitTBL. 2	INTEGER	R/O	1 = none 2 = SDI 3 = Audio 4 = Eye 5 = Analog 6 = DVI-I 7 = MPEG
l10sysUnit2Info	l10sysUnitTBL. 3	INTEGER	R/O	1 = none 2 = SDI 3 = Audio 4 = Eye 5 = Analog 6 = DVI-I 7 = MPEG
l10sysUnit3Info	l10sysUnitTBL. 4	INTEGER	R/O	1 = none 2 = SDI 3 = Audio 4 = Eye 5 = Analog 6 = DVI-I 7 = MPEG
l10sysUnit4Info	l10sysUnitTBL. 5	INTEGER	R/O	1 = none 2 = SDI 3 = Audio 4 = Eye 5 = Analog 6 = DVI-I 7 = MPEG
l10sysUnit5Info	l10sysUnitTBL. 6	INTEGER	R/O	1 = none 2 = SDI 3 = Audio 4 = Eye 5 = Analog 6 = DVI-I 7 = MPEG
l10sysUnit6Info	l10sysUnitTBL. 7	INTEGER	R/O	1 = none 2 = SDI 3 = Audio 4 = Eye 5 = Analog 6 = DVI-I 7 = MPEG
l10sysUnitManualSelect	l10sysUnitTBL. 8	INTEGER	R/W	1 = Auto 2 = Manual

3. SNMP

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l10sysUnitManualFormat	l10sysUnitTBL. 9	INTEGER	R/W	1 = 1080i/60 2 = 1080PsF/30 3 = 1080i/59.94 4 = 1080PsF/29.97 5 = 1080i/50 6 = 1080PsF/25 7 = 1080PsF/24 8 = 1080PsF/23.98 9 = 1080p/30 10 = 1080p/29.97 11 = 1080p/25 12 = 1080p/24 13 = 1080p/23.98 14 = 720p/60 15 = 720p/59.94 16 = 720p/50 17 = 720p/30 18 = 720p/29.97 19 = 720p/25 20 = 720p/24 21 = 720p/23.98 22 = 525i/59.94 23 = 625i/50
l10sysDate	l10systemTBL. 5	OctetString	R/W	YYYY/MM/DD hh:mm:ss
l10sysPlatformTBL	l10systemTBL. 6	Aggregate	--	--
l10sysPlatformDisplayMultiMode	l10sysPlatformTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = 2MULTI 2 = 4MULTI
l10sysPlatformCaptureMode	l10sysPlatformTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = SCREEN 2 = VIDEO-FRAME
l10sysPlatformDisplayInfoFormat	l10sysPlatformTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10sysPlatformDisplayInfoDate	l10sysPlatformTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = OFF 2 = YMD 3 = MDY 4 = DMY
l10sysPlatformDisplayInfoTime	l10sysPlatformTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10sysPlatformDisplayInfoColor	l10sysPlatformTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10sysPlatformDisplayInfoInput	l10sysPlatformTBL. 7	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10sysPlatformDisplayBacklight	l10sysPlatformTBL. 8	INTEGER	R/W	1 = HIGH 2 = LOW

※1 電源投入時に必ず unit1 に初期化されます。各ボードに値を設定する場合は最初にここでユニット番号を選択します。一度選択すると、次に値を変更するか、電源再投入まで変化しません。

3. SNMP

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l10sysPlatformDisplayAutoOff	l10sysPlatformTBL. 9	INTEGER	R/W	1 = OFF 2 = 5MIN 3 = 30MIN 4 = 60MIN
l10sysPlatformRemoteMode	l10sysPlatformTBL. 10	INTEGER	R/W	1 = BIT 2 = BINARY
l10sysPlatformAlarmPolarity	l10sysPlatformTBL. 11	INTEGER	R/W	1 = POSITIVE 2 = NEGATIVE
l10sysPlatformAlarm1Unit	l10sysPlatformTBL. 12	INTEGER	R/W	1 = UNIT1 2 = UNIT2 3 = UNIT3 4 = UNIT4 5 = ALL
l10sysPlatformAlarm2Unit	l10sysPlatformTBL. 13	INTEGER	R/W	1 = UNIT1 2 = UNIT2 3 = UNIT3 4 = UNIT4 5 = ALL
l10sysPlatformAlarm3Unit	l10sysPlatformTBL. 14	INTEGER	R/W	1 = UNIT1 2 = UNIT2 3 = UNIT3 4 = UNIT4 5 = ALL
l10sysPlatformAlarm4Unit	l10sysPlatformTBL. 15	INTEGER	R/W	1 = UNIT1 2 = UNIT2 3 = UNIT3 4 = UNIT4 5 = ALL
l10sysPlatformAlarm1Ch	l10sysPlatformTBL. 16	INTEGER	R/W	1 = A 2 = B 3 = A/B
l10sysPlatformAlarm2Ch	l10sysPlatformTBL. 17	INTEGER	R/W	1 = A 2 = B 3 = A/B
l10sysPlatformAlarm3Ch	l10sysPlatformTBL. 18	INTEGER	R/W	1 = A 2 = B 3 = A/B
l10sysPlatformAlarm4Ch	l10sysPlatformTBL. 19	INTEGER	R/W	1 = A 2 = B 3 = A/B
l10sysPlatformErrorBeep	l10sysPlatformTBL. 20	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10sysLcdOff	l10systemTBL. 7	INTEGER	R/WO	1 = LCD OFF
l10sysInit	l10systemTBL. 8	INTEGER	R/WO	1 = Initialize
l10sysWindowMarker	l10systemTBL. 9	INTEGER	R/W	1 = OFF 2 = BLUE 3 = WHITE
l10sysSourceMode	l10systemTBL. 10	INTEGER	R/W	1 = SINGLE 2 = MULTI 3 = MULTI-LINE

● I10systemTBL (2) グループ

LV 58SER01A (SDI INPUT)

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I10sysUnitSdiTBL	I10systemTBL. 2	Aggregate	--	--
I10sysUnitSdiLinkFormat	I10sysUnitSdiTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = SINGLE 2 = DUAL 3 = 2K
I10sysUnitSdiIPSF	I10sysUnitSdiTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = INTERLACE 2 = SEG. FRAM
I10sysUnitSdiDualTBL	I10sysUnitSdiTBL. 3	Aggregate	--	--
I10sysUnitSdiDualSystem	I10sysUnitSdiDualTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = GBR-444 2 = YCBCR-422
I10sysUnitSdiDualDepth	I10sysUnitSdiDualTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = 10B 2 = 12B
I10sysUnitSdiDualScan	I10sysUnitSdiDualTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = 1080I 2 = 1080PSF 3 = 1080P
I10sysUnitSdiInfoTimeCode	I10sysUnitSdiTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = REAL 2 = LTC 3 = VITC 4 = D-VITC
I10sysUnitSdiSelectOutput	I10sysUnitSdiTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = A 2 = A/B
I10sysUnitSdiErrTBL	I10sysUnitSdiTBL. 6	Aggregate	--	--
I10sysUnitSdiErrTrs	I10sysUnitSdiErrTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10sysUnitSdiErrHdLine	I10sysUnitSdiErrTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10sysUnitSdiErrHdCrc	I10sysUnitSdiErrTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10sysUnitSdiErrSdEdh	I10sysUnitSdiErrTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10sysUnitSdiErrIllegalCode	I10sysUnitSdiErrTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10sysUnitSdiErrCableTBL	I10sysUnitSdiTBL. 7	Aggregate	--	--
I10sysUnitSdiErrCable	I10sysUnitSdiErrCableTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10sysUnitSdiErrHdCable	I10sysUnitSdiErrCableTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = LS-5CFB 2 = 1694A 3 = L-7CHD
I10sysUnitSdiErrHdCableLength	I10sysUnitSdiErrCableTBL. 3	INTEGER	R/W	5 ~ 200
I10sysUnitSdiErrHdCableWarn	I10sysUnitSdiErrCableTBL. 4	INTEGER	R/W	5 ~ 200
I10sysUnitSdiErrSdCable	I10sysUnitSdiErrCableTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = L-5C2V 2 = 8281 3 = 1505A
I10sysUnitSdiErrSdCableLength	I10sysUnitSdiErrCableTBL. 6	INTEGER	R/W	50 ~ 300
I10sysUnitSdiErrSdCableWarn	I10sysUnitSdiErrCableTBL. 7	INTEGER	R/W	50 ~ 300
I10sysUnitSdiErrAncTBL	I10sysUnitSdiTBL. 8	Aggregate	--	--
I10sysUnitSdiErrAncParity	I10sysUnitSdiErrAncTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10sysUnitSdiErrAncChecksum	I10sysUnitSdiErrAncTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF

3. SNMP

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l10sysUnitSdiErrAudTBL	l10sysUnitSdiTBL. 9	Aggregate	--	--
l10sysUnitSdiErrAudioBch	l10sysUnitSdiErrAudTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10sysUnitSdiErrAudioDbn	l10sysUnitSdiErrAudTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10sysUnitSdiErrAudioParity	l10sysUnitSdiErrAudTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10sysUnitSdiErrAudioInhibit	l10sysUnitSdiErrAudTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10sysUnitSdiErrGamutTBL	l10sysUnitSdiTBL. 10	Aggregate	--	--
l10sysUnitSdiErrGamutLpf	l10sysUnitSdiErrGamutTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = HD1M-SD1M 2 = HD2. 8M-SD1M 3 = OFF
l10sysUnitSdiErrGamut	l10sysUnitSdiErrGamutTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10sysUnitSdiErrGamutUpper	l10sysUnitSdiErrGamutTBL. 3	OctetString	R/W	90. 8 ~ 109. 4
l10sysUnitSdiErrGamutLower	l10sysUnitSdiErrGamutTBL. 4	OctetString	R/W	-7. 2 ~ 6. 1
l10sysUnitSdiErrGamutArea	l10sysUnitSdiErrGamutTBL. 5	OctetString	R/W	0. 1 ~ 5. 0
l10sysUnitSdiErrGamutDuration	l10sysUnitSdiErrGamutTBL. 6	INTEGER	R/W	1 ~ 60
l10sysUnitSdiErrCGamut	l10sysUnitSdiErrGamutTBL. 7	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10sysUnitSdiErrCGamutSetup	l10sysUnitSdiErrGamutTBL. 8	INTEGER	R/W	1 = OP 2 = 7. 5P
l10sysUnitSdiErrCGamutUpper	l10sysUnitSdiErrGamutTBL. 9	OctetString	R/W	90. 0 ~ 135. 0
l10sysUnitSdiErrCGamutLower	l10sysUnitSdiErrGamutTBL. 10	OctetString	R/W	-40. 0 ~ 20. 0
l10sysUnitSdiErrCGamutArea	l10sysUnitSdiErrGamutTBL. 11	OctetString	R/W	0. 1 ~ 5. 0
l10sysUnitSdiErrCGamutDuration	l10sysUnitSdiErrGamutTBL. 12	INTEGER	R/W	1 ~ 60
l10sysUnitSdiErrFreezeTBL	l10sysUnitSdiTBL. 11	Aggregate	--	--
l10sysUnitSdiErrFreeze	l10sysUnitSdiErrFreezeTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10sysUnitSdiErrFreezeUpper	l10sysUnitSdiErrFreezeTBL. 2	INTEGER	R/W	0 ~ 100
l10sysUnitSdiErrFreezeLower	l10sysUnitSdiErrFreezeTBL. 3	INTEGER	R/W	0 ~ 100
l10sysUnitSdiErrFreezeLeft	l10sysUnitSdiErrFreezeTBL. 4	INTEGER	R/W	0 ~ 100
l10sysUnitSdiErrFreezeRight	l10sysUnitSdiErrFreezeTBL. 5	INTEGER	R/W	0 ~ 100
l10sysUnitSdiErrFreezeDuration	l10sysUnitSdiErrFreezeTBL. 6	INTEGER	R/W	2 ~ 300
l10sysUnitSdiErrBlackTBL	l10sysUnitSdiTBL. 12	Aggregate	--	--
l10sysUnitSdiErrBlack	l10sysUnitSdiErrBlackTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10sysUnitSdiErrBlackLevel	l10sysUnitSdiErrBlackTBL. 2	INTEGER	R/W	0 ~ 100
l10sysUnitSdiErrBlackArea	l10sysUnitSdiErrBlackTBL. 3	INTEGER	R/W	1 ~ 100
l10sysUnitSdiErrBlackDuration	l10sysUnitSdiErrBlackTBL. 4	INTEGER	R/W	1 ~ 300
l10sysUnitSdiErrLevelTBL	l10sysUnitSdiTBL. 13	Aggregate	--	--
l10sysUnitSdiErrLevel	l10sysUnitSdiErrLevelTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10sysUnitSdiErrLevelRumaUpper	l10sysUnitSdiErrLevelTBL. 2	INTEGER	R/W	-51 ~ 766
l10sysUnitSdiErrLevelRumaLower	l10sysUnitSdiErrLevelTBL. 3	INTEGER	R/W	-51 ~ 766
l10sysUnitSdiErrLevelChromaUpper	l10sysUnitSdiErrLevelTBL. 4	INTEGER	R/W	-400 ~ 399
l10sysUnitSdiErrLevelChromaLower	l10sysUnitSdiErrLevelTBL. 5	INTEGER	R/W	-400 ~ 399

● I10systemTBL (2) グループ

LV 58SER40A (DIGITAL AUDIO)

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I10sysUnitAudioTBL	I10systemTBL. 3	Aggregate	--	--
I10sysUnitAudioExtBnc	I10sysUnitAudioTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = INPUT 2 = OUTPUT
I10sysUnitAudioErrHdTBL	I10sysUnitAudioTBL. 2	Aggregate	--	--
I10sysUnitAudioErrorLevelOver	I10sysUnitAudioErrHdTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10sysUnitAudioErrorClip	I10sysUnitAudioErrHdTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10sysUnitAudioErrorClipDuration	I10sysUnitAudioErrHdTBL. 3	INTEGER	R/W	1 ~ 100
I10sysUnitAudioErrorMute	I10sysUnitAudioErrHdTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10sysUnitAudioErrorMuteDuration	I10sysUnitAudioErrHdTBL. 5	INTEGER	R/W	1 ~ 5000
I10sysUnitAudioErrorParity	I10sysUnitAudioErrHdTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10sysUnitAudioErrorVaridity	I10sysUnitAudioErrHdTBL. 7	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10sysUnitAudioErrorCrc	I10sysUnitAudioErrHdTBL. 8	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10sysUnitAudioErrorCode	I10sysUnitAudioErrHdTBL. 9	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF

3. SNMP

● I10systemTBL (2) グループ

LV 58SER02 (EYE PATTERN unit)

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I10sysUnitEyeTBL	I10systemTBL. 4	Aggregate	--	--
I10sysUnitEyeErrHdTBL	I10sysUnitEyeTBL. 1	Aggregate	--	--
I10sysUnitEyeErrHdAmp	I10sysUnitEyeErrHdTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10sysUnitEyeErrHdAmpUpper	I10sysUnitEyeErrHdTBL. 2	INTEGER	R/W	80 ~ 140
I10sysUnitEyeErrHdAmpLower	I10sysUnitEyeErrHdTBL. 3	INTEGER	R/W	40 ~ 100
I10sysUnitEyeErrHdRise	I10sysUnitEyeErrHdTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10sysUnitEyeErrHdRiseMax	I10sysUnitEyeErrHdTBL. 5	INTEGER	R/W	40 ~ 140
I10sysUnitEyeErrHdFall	I10sysUnitEyeErrHdTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10sysUnitEyeErrHdFallMax	I10sysUnitEyeErrHdTBL. 7	INTEGER	R/W	40 ~ 140
I10sysUnitEyeErrHdDelta	I10sysUnitEyeErrHdTBL. 8	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10sysUnitEyeErrHdDeltaMax	I10sysUnitEyeErrHdTBL. 9	INTEGER	R/W	40 ~ 140
I10sysUnitEyeErrHdTimingJit	I10sysUnitEyeErrHdTBL. 10	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10sysUnitEyeErrHdTimingJitMax	I10sysUnitEyeErrHdTBL. 11	INTEGER	R/W	10 ~ 200
I10sysUnitEyeErrHdCurrentJit	I10sysUnitEyeErrHdTBL. 12	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10sysUnitEyeErrHdCurrentJitMax	I10sysUnitEyeErrHdTBL. 13	INTEGER	R/W	10 ~ 200
I10sysUnitEyeErrSdTBL	I10sysUnitEyeTBL. 2	Aggregate	--	--
I10sysUnitEyeErrSdAmp	I10sysUnitEyeErrSdTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10sysUnitEyeErrSdAmpUpper	I10sysUnitEyeErrSdTBL. 2	INTEGER	R/W	80 ~ 140
I10sysUnitEyeErrSdAmpLower	I10sysUnitEyeErrSdTBL. 3	INTEGER	R/W	40 ~ 100
I10sysUnitEyeErrSdRise	I10sysUnitEyeErrSdTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10sysUnitEyeErrSdRiseMax	I10sysUnitEyeErrSdTBL. 5	INTEGER	R/W	40 ~ 140
I10sysUnitEyeErrSdFall	I10sysUnitEyeErrSdTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10sysUnitEyeErrSdFallMax	I10sysUnitEyeErrSdTBL. 7	INTEGER	R/W	40 ~ 140
I10sysUnitEyeErrSdDelta	I10sysUnitEyeErrSdTBL. 8	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10sysUnitEyeErrSdDeltaMax	I10sysUnitEyeErrSdTBL. 9	INTEGER	R/W	40 ~ 140
I10sysUnitEyeErrSdTimingJit	I10sysUnitEyeErrSdTBL. 10	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10sysUnitEyeErrSdTimingJitMax	I10sysUnitEyeErrSdTBL. 11	INTEGER	R/W	10 ~ 200
I10sysUnitEyeErrSdCurrentJit	I10sysUnitEyeErrSdTBL. 12	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10sysUnitEyeErrSdCurrentJitMax	I10sysUnitEyeErrSdTBL. 13	INTEGER	R/W	10 ~ 200

● l10systemTBL (2) グループ

LV 58SER04 (MPEG DECODER)

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l10sysUnitMpegTBL	l10systemTBL. 11	Aggregate	--	--
l10sysUnitMpegSemiAutoSearch	l10sysUnitMpegTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10sysUnitMpegErrSyncByte	l10sysUnitMpegTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10sysUnitMpegErrContinuity	l10sysUnitMpegTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10sysUnitMpegErrPat	l10sysUnitMpegTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10sysUnitMpegErrPatCycle	l10sysUnitMpegTBL. 5	INTEGER	R/W	100 ~ 800
l10sysUnitMpegErrPmt	l10sysUnitMpegTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10sysUnitMpegErrPmtCycle	l10sysUnitMpegTBL. 7	INTEGER	R/W	100 ~ 800
l10sysUnitMpegErrPid	l10sysUnitMpegTBL. 8	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10sysUnitMpegErrPidCycle	l10sysUnitMpegTBL. 9	INTEGER	R/W	1 ~ 20
l10sysUnitMpegErrTransport	l10sysUnitMpegTBL. 10	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10sysUnitMpegErrCrc	l10sysUnitMpegTBL. 11	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10sysUnitMpegErrPcr	l10sysUnitMpegTBL. 12	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10sysUnitMpegErrPcrCycle	l10sysUnitMpegTBL. 13	INTEGER	R/W	10 ~ 200
l10sysUnitMpegErrAccuracy	l10sysUnitMpegTBL. 14	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10sysUnitMpegErrPts	l10sysUnitMpegTBL. 15	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10sysUnitMpegErrPtsCycle	l10sysUnitMpegTBL. 16	INTEGER	R/W	100 ~ 800
l10sysUnitMpegErrCat	l10sysUnitMpegTBL. 17	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10sysUnitMpegErrCatCycle	l10sysUnitMpegTBL. 18	OctetString	R/W	0.1 ~ 20.0

3. SNMP

● I10wfmTBL (3) グループ

※選択されている DISPLAY の MODE が WFM の時有効

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I10wfmDispTBL	I10wfmTBL. 1	Aggregate	--	--
I10wfmDispCh1	I10wfmDispTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10wfmDispCh2	I10wfmDispTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10wfmDispCh3	I10wfmDispTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10wfmDispOverlay	I10wfmDispTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10wfmIntenTBL	I10wfmTBL. 2	Aggregate	--	--
I10wfmIntenWfm	I10wfmIntenTBL. 1	INTEGER	R/W	-128 ~ 127
I10wfmIntenScale	I10wfmIntenTBL. 2	INTEGER	R/W	-8 ~ 7
I10wfmScaleTBL	I10wfmTBL. 3	Aggregate	--	--
I10wfmScaleUnit	I10wfmScaleTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = HDV-SDP 2 = HDV-SDV 3 = HDP-SDP
I10wfmScaleColor75per	I10wfmScaleTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10wfmScaleColor	I10wfmScaleTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = WHITE 2 = YELLOW 3 = CYAN 4 = GREEN 5 = MAGENTA 6 = RED 7 = BLUE
I10wfmColor	I10wfmScaleTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = WHITE 2 = GREEN 3 = MULTI
I10wfmGainTBL	I10wfmTBL. 4	Aggregate	--	--
I10wfmGainVar	I10wfmGainTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = CAL 2 = VAR
I10wfmGainVal	I10wfmGainTBL. 2	OctetString	R/W	0.200 ~ 2.000
I10wfmGainMag	I10wfmGainTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = X1 2 = X5
I10wfmSweepTBL	I10wfmTBL. 5	Aggregate	--	--
I10wfmSweepSweep	I10wfmSweepTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = H 2 = V
I10wfmSweepHSweep	I10wfmSweepTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = 1H 2 = 2H
I10wfmSweepVSweep	I10wfmSweepTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = 1V 2 = 2V
I10wfmSweepField	I10wfmSweepTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = FIELD1 2 = FIELD2
I10wfmSweepHMag	I10wfmSweepTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = X1 2 = X10 3 = X20 4 = ACTIVE 5 = BLANK
I10wfmSweepVMag	I10wfmSweepTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = X1 2 = X20 3 = X40

3. SNMP

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l10wfmLineSelTBL	l10wfmTBL. 6	Aggregate	--	--
l10wfmLineSelect	l10wfmLineSelTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10wfmLineField	l10wfmLineSelTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = FIELD1 2 = FIELD2 3 = FRAME
l10wfmLineNumber	l10wfmLineSelTBL. 3	INTEGER	R/W	1 ~ 1125
l10wfmFilterTBL	l10wfmTBL. 7	Aggregate	--	--
l10wfmFilterNormal	l10wfmFilterTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = FLAT 2 = LOWPASS
l10wfmFilterComposite	l10wfmFilterTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = FLAT 2 = FLAT-LUM 3 = FLAT-CHROMA
l10wfmBlankingTBL	l10wfmTBL. 8	Aggregate	--	--
l10wfmBlankingNormal	l10wfmBlankingTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = REMOVE 2 = H-VIEW 3 = V-VIEW 4 = ALL-VIEW
l10wfmBlankingComposite	l10wfmBlankingTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = REMOVE 2 = V-VIEW
l10wfmPersistTBL	l10wfmTBL. 9	Aggregate	--	--
l10wfmPersistence	l10wfmPersistTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF 3 = INFINIT
l10wfmPersistClear	l10wfmPersistTBL. 2	INTEGER	R/WO	1 = PERSIST CLEAR
l10wfmSpecialForm	l10wfmTBL. 10	INTEGER	R/W	1 = NORMAL 2 = TIMING 4 = 4Y-PARADE 5 = 4-PARADE
l10wfmMatrixTBL	l10wfmTBL. 11	Aggregate	--	--
l10wfmMatrix	l10wfmMatrixTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = YCBCR 2 = GBR 3 = RGB 4 = COMPOSITE
l10wfmMatrixYgbr	l10wfmMatrixTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10wfmMatrixYrgb	l10wfmMatrixTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10wfmMatrixSetup	l10wfmMatrixTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = OP 2 = 7.5P
l10wfmMatrixCompositeFormat	l10wfmMatrixTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = AUTO 2 = NTSC 3 = PAL

3. SNMP

● l10vectorTBL (4) グループ

※選択されている DISPLAY の MODE が VECTOR の時有効

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l10vecIntenTBL	l10vectorTBL. 1	Aggregate	--	--
l10vecIntenVector	l10vecIntenTBL. 1	INTEGER	R/W	-128 ~ 127
l10vecIntenScale	l10vecIntenTBL. 2	INTEGER	R/W	-8 ~ 7
l10vecScaleTBL	l10vectorTBL. 2	Aggregate	--	--
l10vecScaleIq	l10vecScaleTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10vecScaleColor	l10vecScaleTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = WHITE 2 = YELLOW 3 = CYAN 4 = GREEN 5 = MAGENTA 6 = RED 7 = BLUE
l10vecColor	l10vecScaleTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = WHITE 2 = GREEN
l10vecGainTBL	l10vectorTBL. 3	Aggregate	--	--
l10vecGainVar	l10vecGainTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = CAL 2 = VAR
l10vecGainVal	l10vecGainTBL. 2	OctetStrin	R/W	0.200 ~ 2.000
l10vecGainMag	l10vecGainTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = X1 2 = X5 3 = IQ
l10vecLineSelTBL	l10vectorTBL. 4	Aggregate	--	--
l10vecLineSelect	l10vecLineSelTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10vecLineField	l10vecLineSelTBL. 2	INTEGER INTEGER	R/W	1 = FIELD1 2 = FIELD2 3 = FRAME
l10vecLineNumber	l10vecLineSelTBL. 3	INTEGER	R/W	1 ~ 1125
l10vecMatrixTBL	l10vectorTBL. 5	Aggregate	--	--
l10vecMatrix	l10vecMatrixTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = COMPONENT 2 = COMPOSITE
l10vecMatrixSetup	l10vecMatrixTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = OP 2 = 7.5P
l10vecMatrixColorbar	l10vecMatrixTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = 100P 2 = 75P
l10vecMatrixCompositeFormat	l10vecMatrixTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = AUTO 2 = NTSC 3 = PAL
l10vecMode	l10vectorTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = VECTOR 2 = 5BAR
l10vecPersistTBL	l10vectorTBL. 7	Aggregate	--	--
l10vecPersistence	l10vecPersistTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF 3 = INFINIT
l10vecPersistClear	l10vecPersistTBL. 2	INTEGER	R/WO	1 = PERSIST CLEAR
l10vec5BarTBL	l10vectorTBL. 8	Aggregate	--	--
l10vec5BarMatrix	l10vec5BarTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = GBR 2 = RGB
l10vec5BarUnit	l10vec5BarTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = MV 2 = PER

3. SNMP

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l10vecAnalogTBL	l10vectorTBL. 9	Aggregate	--	--
l10vecAnalogFdMode	l10vecAnalogTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = PHASE 2 = LINE-SELECT
l10vecAnalogPhase	l10vecAnalogTBL. 2	OctetString	R/W	0.0 ~ 359.9
l10vecAnalogNtscDisplay	l10vecAnalogTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10vecSch	l10vecAnalogTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF

● l10pictureTBL (5) グループ

※選択されている DISPLAY の MODE が PICTURE の時有効

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l10picBright	l10pictureTBL. 1	INTEGER	R/W	-30 ~ 30
l10picContrast	l10pictureTBL. 2	OctetString	R/W	0.70 ~ 1.30
l10picGainTBL	l10pictureTBL. 3	Aggregate	--	--
l10picGainRed	l10picGainTBL. 1	OctetString	R/W	0.70 ~ 1.30
l10picGainGreen	l10picGainTBL. 2	OctetString	R/W	0.70 ~ 1.30
l10picGainBlue	l10picGainTBL. 3	OctetString	R/W	0.70 ~ 1.30
l10picBiasTBL	l10pictureTBL. 4	Aggregate	--	--
l10picBiasRed	l10picBiasTBL. 1	OctetString	R/W	-0.30 ~ 0.30
l10picBiasGreen	l10picBiasTBL. 2	OctetString	R/W	-0.30 ~ 0.30
l10picBiasBlue	l10picBiasTBL. 3	OctetString	R/W	-0.30 ~ 0.30
l10picMarkerTBL	l10pictureTBL. 5	Aggregate	--	--
l10picMarker43	l10picMarkerTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10picMarker169	l10picMarkerTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10picMarkerSafeAction	l10picMarkerTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10picMarkerSafeTitle	l10picMarkerTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10picMarkerSafeCenter	l10picMarkerTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10picLineSelTBL	l10pictureTBL. 6	Aggregate	--	--
l10picLineSelect	l10picLineSelTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10picLineField	l10picLineSelTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = FIELD1 2 = FIELD2 3 = FRAME
l10picLineNumber	l10picLineSelTBL. 2	INTEGER	R/W	1 ~ 1125
l10picSize	l10pictureTBL. 7	INTEGER	R/W	1 = FIT 2 = REAL 3 = FULL-FRM

3. SNMP

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l10picSImpsTBL	l10pictureTBL. 8	Aggregate	--	--
l10picSImpsStd	l10picSImpsTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = OFF 2 = SMPTE 3 = ARIB
l10picSImpsFmtSmpte	l10picSImpsTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = FMT-608-708 2 = FMT-608-608 3 = FMT-VBI 4 = FMT-708
l10picSImpsDisp608	l10picSImpsTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = CC1 2 = CC2 3 = CC3 4 = CC4 5 = TEXT1 6 = TEXT2 7 = TEXT3 8 = TEXT4
l10picSImpsFmtAr ib	l10picSImpsTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = HD 2 = SD 3 = ANALOG 4 = CELLULAR
l10picSImpsDispAr ib	l10picSImpsTBL. 5	INTEGER	R/W	1 ~ 2
l10picSImpsDisp708	l10picSImpsTBL. 6	INTEGER	R/W	1 ~ 63
l10picGamutTBL	l10pictureTBL. 9	Aggregate	--	--
l10picGamutError	l10picGamutTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10picGamutPattern	l10picGamutTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = WHITE 2 = RED 3 = MESH
l10picDispTBL	l10pictureTBL. 10	Aggregate	--	--
l10picDispAfd	l10picDispTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF

3. SNMP

● I10audioTBL (6) グループ

※選択されている DISPLAY の MODE が AUDIO の時有効

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I10audChSelTBL	I10audioTBL. 1	Aggregate	--	--
I10audChSelNummer	I10audChSelTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = 8CH 2 = 16CH
I10audChSelDisplay	I10audChSelTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = 1-8CH 2 = 9-16CH
I10audDisplayMode	I10audioTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = LISSAJOU 2 = S-IMAGE 3 = STATUS 4 = METER
I10audMeterTBL	I10audioTBL. 3	Aggregate	--	--
I10audMeterDRange	I10audMeterTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = -60DBFS 2 = -90DBFS
I10audMeterResponse	I10audMeterTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = TRUE PEAK 2 = PPM 3 = VU+TRUE 4 = VU+PPM 5 = PPM(I) 6 = PPM(II) 7 = VU+PPM(I) 8 = VU+PPM(II) 9 = LOUDNESS-F 10 = LOUDNESS-S
I10audMeterPeakHold	I10audMeterTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = 0.5SEC 2 = 1SEC 3 = 1.5SEC 4 = 2SEC 5 = 2.5SEC 6 = 3SEC 7 = 3.5SEC 8 = 4SEC 9 = 4.5SEC 10 = 5SEC 11 = HOLD
I10audMeterOverLevel	I10audMeterTBL. 4	OctetString	R/W	-40.0 ~ 0.0
I10audMeterWarningLevel	I10audMeterTBL. 5	OctetString	R/W	-40.0 ~ 0.0
I10audMeterRefLevel	I10audMeterTBL. 6	OctetString	R/W	-40.0 ~ 0.0
I10audLissajouTBL	I10audioTBL. 4	Aggregate	--	--
I10audLissajouIntenTBL	I10audLissajouTBL. 1	Aggregate	--	--
I10audLissajouIntenLissajou	I10audLissajouIntenTBL. 1	INTEGER	R/W	-128 ~ 127
I10audLissajouIntenScale	I10audLissajouIntenTBL. 2	INTEGER	R/W	-8 ~ 7
I10audLissajouDisplay	I10audLissajouTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = SINGLE 2 = MULTI
I10audLissajouForm	I10audLissajouTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = X-Y 2 = MATRIX
I10audLissajouAutoGain	I10audLissajouTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10audLissajouMapTBL	I10audLissajouTBL. 5	Aggregate	--	--

3. SNMP

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l10audLissajouMapSingleL	l10audLissajouMapTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16 17 = LT
l10audLissajouMapSingleR	l10audLissajouMapTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16 17 = RT
l10audLissajouMapMultiL1	l10audLissajouMapTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16

3. SNMP

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l10audLissajouMapMultiR1	l10audLissajouMapTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16
l10audLissajouMapMultiL2	l10audLissajouMapTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16
l10audLissajouMapMultiR2	l10audLissajouMapTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16

3. SNMP

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l10audLissajouMapMultiL3	l10audLissajouMapTBL. 7	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16
l10audLissajouMapMultiR3	l10audLissajouMapTBL. 8	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16
l10audLissajouMapMultiL4	l10audLissajouMapTBL. 9	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16

3. SNMP

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l10audLissajouMapMultiR4	l10audLissajouMapTBL. 10	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16
l10audLissajouMapMultiL5	l10audLissajouMapTBL. 11	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16
l10audLissajouMapMultiR5	l10audLissajouMapTBL. 12	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16

3. SNMP

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l10audLissajouMapMultiL6	l10audLissajouMapTBL. 13	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16
l10audLissajouMapMultiL6	l10audLissajouMapTBL. 14	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16
l10audLissajouMapMultiL7	l10audLissajouMapTBL. 15	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16

3. SNMP

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l10audLissajouMapMultiR7	l10audLissajouMapTBL. 16	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16
l10audLissajouMapMultiR8	l10audLissajouMapTBL. 17	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16
l10audLissajouMapMultiR8	l10audLissajouMapTBL. 18	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16
l10audSImageTBL	l10audioTBL. 5	Aggregate	--	--
l10audSImageIntenTBL	l10audSImageTBL. 1	Aggregate	--	--
l10audSImageIntenSImage	l10audSImageIntenTBL. 1	INTEGER	R/W	-128 ~ 127
l10audSImageIntenScale	l10audSImageIntenTBL. 2	INTEGER	R/W	-8 ~ 7
l10audSImageSurround	l10audSImageTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = 3-1 2 = 3-2 3 = 3-2-2
l10audSImageAutoGain	l10audSImageTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF

3. SNMP

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I10audSImageMapTBL	I10audSImageTBL. 4	Aggregate	--	--
I10audSImageMapL	I10audSImageMapTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16
I10audSImageMapR	I10audSImageMapTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16
I10audSImageMapS	I10audSImageMapTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16

3. SNMP

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I10audSImageMapRs	I10audSImageMapTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16
I10audSImageMapC	I10audSImageMapTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16
I10audSImageMapLfe	I10audSImageMapTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16

3. SNMP

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I10audSImageMapLl	I10audSImageMapTBL. 7	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16
I10audSImageMapRr	I10audSImageMapTBL. 8	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16
I10audStatusTBL	I10audioTBL. 6	Aggregate	--	--
I10audStatusDisplay	I10audStatusTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = DEFAULT 2 = CH-STATUS 3 = USER-BIT
I10audStatusChStatus	I10audStatusTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16

3. SNMP

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l10audStatusUserBit	l10audStatusTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = CH1 2 = CH2 3 = CH3 4 = CH4 5 = CH5 6 = CH6 7 = CH7 8 = CH8 9 = CH9 10 = CH10 11 = CH11 12 = CH12 13 = CH13 14 = CH14 15 = CH15 16 = CH16
l10audStatusErrorReset	l10audStatusTBL. 4	INTEGER	R/WO	1 = Error Reset
l10audStatusStatusAlign	l10audStatusTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = LSB 1st 2 = MSB 1st
l10audStatusUserAlign	l10audStatusTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = LSB 1st 2 = MSB 1st
l10audPhonesTBL	l10audioTBL. 7	Aggregate	--	--
l10audioPhonesVolume	l10audPhonesTBL. 1	INTEGER	R/W	-128 ~ 127
l10audPhonesLRCh	l10audPhonesTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = ch1-2 2 = ch3-4 3 = ch5-6 4 = ch7-8 5 = ch9-10 6 = ch11-12 7 = ch13-14 8 = ch15-16 9 = Lt/Rt 10 = AUX1/AUX2 11 = L/R
l10audDoIbyTBL	l10audioTBL. 8	Aggregate	--	--
l10audDoIbyMode	l10audDoIbyTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = E 2 = OFF 3 = AC-3
l10audDoIbyGroup	l10audDoIbyTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = ch1-2 2 = ch3-4 3 = ch5-6 4 = ch7-8 5 = ch9-10 6 = ch11-12 7 = ch13-14 8 = ch15-16
l10audDoIbyEDialnorm	l10audDoIbyTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l10audDoIbyEPulldown	l10audDoIbyTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF

3. SNMP

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I10audDolbyEMetaPrm	I10audDolbyTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = PRM1 2 = PRM2 3 = PRM3 4 = PRM4 5 = PRM5 6 = PRM6 7 = PRM7 8 = PRM8
I10audDolbyDLlistening	I10audDolbyTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = FULL 2 = EX 3 = 3stereo 4 = PHANTOM 5 = STEREO 6 = MONO
I10audDolbyDPrologic	I10audDolbyTBL. 7	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10audDolbyDDrc	I10audDolbyTBL. 8	INTEGER	R/W	1 = BYPASS 2 = LINE 3 = RF
I10audDolbyAuxCh	I10audDolbyTBL. 9	INTEGER	R/W	1 = LtRt 2 = LoRo 3 = MONO 4 = MUTE
I10audDolbyAuxChDrc	I10audDolbyTBL. 10	INTEGER	R/W	1 = LINE 2 = RF
I10audDolbyEbiMetaPrm	I10audDolbyTBL. 11	INTEGER	R/W	1 = PRM1 2 = PRM2 3 = PRM3 4 = PRM4 5 = PRM5 6 = PRM6 7 = PRM7 8 = PRM8
I10audInputSelect	I10audioTBL. 9	INTEGER	R/W	1 = DIGITAL 2 = ANALOG

● I10statusTBL (7) グループ

※選択されている DISPLAY の MODE が STATUS の時有効

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I10staCounter	I10statusTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = SEC 2 = FIELD 3 = PER-FIELD
I10staReset	I10statusTBL. 2	INTEGER	R/WO	1 = STATUS RESET
I10staLogTBL	I10statusTBL. 3	Aggregate	--	--
I10staLog	I10staLogTBL. 1	INTEGER	R/WO	1 = LOG DISPLAY
I10staLogLog	I10staLogTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = START 2 = STOP
I10staLogMode	I10staLogTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = OVER-WR 2 = STOP
I10staLogClear	I10staLogTBL. 4	INTEGER	R/WO	1 = LOG CLEAR
I10staDumpTBL	I10statusTBL. 4	Aggregate	--	--
I10staDump	I10staDumpTBL. 1	INTEGER	R/WO	1 = DUMP DISPLAY
I10staDumpMode	I10staDumpTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = RUN 2 = HOLD 3 = FRM-CAP
I10staDumpDisplay	I10staDumpTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = SERIAL 2 = COMPONENT 3 = BINARY
I10staDumpDisplayDual	I10staDumpTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = A 2 = B 3 = A/B
I10staDumpLineNumber	I10staDumpTBL. 5	INTEGER	R/W	1 ~ 1125
I10staDumpSample	I10staDumpTBL. 6	INTEGER	R/W	0 ~ 2199
I10staDumpEav	I10staDumpTBL. 7	INTEGER	R/WO	1 = EAV DISPLAY
I10staDumpSav	I10staDumpTBL. 8	INTEGER	R/WO	1 = SAV DISPLAY

● I10eyeTBL (8) グループ

※選択されている DISPLAY の MODE が EYE の時有効

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I10eyeIntenTBL	I10eyeTBL. 1	Aggregate	--	--
I10eyeIntenEye	I10eyeIntenTBL. 1	INTEGER	R/W	-128 ~ 127
I10eyeIntenScale	I10eyeIntenTBL. 2	INTEGER	R/W	-8 ~ 7
I10eyeMode	I10eyeTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = EYE 2 = JITTER
I10eyeAutoMeasure	I10eyeTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10eyeGainTBL	I10eyeTBL. 4	Aggregate	--	--
I10eyeGainVar	I10eyeGainTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = CAL 2 = VAR
I10eyeGainVal	I10eyeGainTBL. 2	OctetString	R/W	0.50 ~ 2.00
I10eyeSweepSweep	I10eyeTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = 2UI 2 = 4UI 3 = 16UI
I10eyeFilter	I10eyeTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = 100kHz 2 = 1kHz 3 = 100Hz 4 = 10Hz 5 = Timing 6 = Alignment
I10eyeJitterTBL	I10eyeTBL. 7	Aggregate	--	--
I10eyeJitterPeakHold	I10eyeJitterTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
I10eyeJitterPeakClear	I10eyeJitterTBL. 2	INTEGER	R/WO	1 = PEAK CLEAR

3. SNMP

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l10eyeJitterGain	l10eyeJitterTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = X1 2 = X2 3 = X8
l10eyeJitterSweep	l10eyeJitterTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = 1H 2 = 2H 3 = 1V 4 = 2V
l10eyeJitterFilter	l10eyeJitterTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = 100kHz 2 = 1kHz 3 = 100Hz 4 = 10Hz 5 = Timing 6 = Alignment
l10eyeMonTBL	l10eyeTBL. 8	Aggregate	--	--
l10eyeAmplitude (※1)	l10eyeMonTBL. 1	OctetString	R/O	0.0 ~ 1200.0mV 測定不能:---
l10eyeTr (※1)	l10eyeMonTBL. 2	OctetString	R/O	HD:0 ~ 674ps SD:0 ~ 3700ps 測定不能:---
l10eyeTf (※1)	l10eyeMonTBL. 3	OctetString	R/O	HD:0 ~ 674ps SD:0 ~ 3700ps 測定不能:---
l10eyeTimingJitterPs (※2)	l10eyeMonTBL. 4	OctetString	R/O	HD:0 ~ 6470ps SD:0 ~ 35520ps 測定不能:---
l10eyeTimingJitterUi (※2)	l10eyeMonTBL. 5	OctetString	R/O	HD:0 ~ 9.600Uip-p SD:0 ~ 9.600Uip-p 測定不能:---
l10eyeCurrentJitterPs (※2)	l10eyeMonTBL. 6	OctetString	R/O	HD:0 ~ 6470ps SD:0 ~ 35520ps 測定不能:---
l10eyeCurrentJitterUi (※2)	l10eyeMonTBL. 7	OctetString	R/O	HD:0 ~ 9.600Uip-p SD:0 ~ 9.600Uip-p 測定不能:---

※1 アイパターン表示時に有効。その時表示している測定値を送る。

※2 ジッタ表示時に有効。その時表示している測定値を送る。

● l10trapTBL (9) グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l10trapStrTBL	l10trapTBL. 1	Aggregate	--	--(Variable Binding List)
l10trapIpTBL	l10trapTBL. 2	Aggregate	--	--
l10trapIp1TBL	l10trapipTBL. 1	Aggregate	--	--
l10trapManagerIp1	l10trapIp1TBL. 1	IpAddress	R/W	Trap の送信先 マネージャ IP アドレス 1
l10trapManagerIp1Act	l10trapIp1TBL. 2	INTEGER	R/W	1 = ENABLE 2 = DISABLE
l10trapIp2TBL	l10trapipTBL. 2	Aggregate	--	--
l10trapManagerIp2	l10trapIp2TBL. 1	IpAddress	R/W	Trap の送信先 マネージャ IP アドレス 2
l10trapManagerIp2Act	l10trapIp2TBL. 2	INTEGER	R/W	1 = ENABLE 2 = DISABLE
l10trapIp3TBL	l10trapipTBL. 3	Aggregate	--	--
l10trapManagerIp3	l10trapIp3TBL. 1	IpAddress	R/W	Trap の送信先 マネージャ IP アドレス 3
l10trapManagerIp3Act	l10trapIp3TBL. 2	INTEGER	R/W	1 = ENABLE 2 = DISABLE
l10trapIp4TBL	l10trapipTBL. 4	Aggregate	--	--
l10trapManagerIp4	l10trapIp4TBL. 1	IpAddress	R/W	Trap の送信先 マネージャ IP アドレス 4
l10trapManagerIp4Act	l10trapIp4TBL. 2	INTEGER	R/W	1 = ENABLE 2 = DISABLE
l10TrapStatusTBL	l10trapTBL. 4	Aggregate	--	--
l10TrapStaCableLen	l10TrapStatusTBL. 1	INTEGER	R/O	Cable Warning 用 --(Variable Binding List)

3.5 拡張TRAP

本器の拡張 TRAP について説明します。

1 秒間に 1 回以上のイベントが連続発生すると、本体の TRAP 処理は間に合わなくなります。TRAP 用のバッファは 1000 イベント分用意していますが、これを超えた分の TRAP は処理されません。

3.5.1 SNMPマネージャの設定

● コミュニティ名

TRAP community: LDRUser

● IP アドレスの設定

「3.3.2 本体の設定」を参照して、IP アドレスを設定してください。

3.5.2 Specific Trap

内容	Specific Trap Type
FAN 停止の検出	1
NO SIGNAL	3
ラインナンバーエラーの検出	6
CRC エラーの検出 (LUMA)	7
CRC エラーの検出 (CHROMA)	8
チェックサムエラーの検出	9
BCH エラーの検出	10
EDH エラーの検出	11
リザーブドエリアエラーの検出	12
パリティエラーの検出	13
TRS エラーの検出 (POS)	15
TRS エラーの検出 (CODE)	16
フリーズエラーの検出	17
ブラックアウトエラーの検出	18
等価線長計エラーの検出	19
等価線長計ウォーニングの検出	20
SDI DELAY エラーの検出	21
ガマットエラーの検出	23
コンポジットガマットエラーの検出	24
レベルエラーの検出 (LUMA)	25
レベルエラーの検出 (CHROMA)	26
UnKnown (Format)	27
エラー無し (エラー復帰時&起動時)	37
パリティエラーの検出 (AUDIO)	40
DBN エラーの検出 (AUDIO)	41
INH エラーの検出 (AUDIO)	42
振幅エラーの検出 (EYE:HD)	60
Risetime エラーの検出 (EYE:HD)	61
Falltime エラーの検出 (EYE:HD)	62
Deltatime エラーの検出 (EYE:HD)	63
Timing ジッタエラーの検出 (EYE:HD)	64
Current ジッタエラーの検出 (EYE:HD)	65
振幅エラーの検出 (EYE:SD)	66
Risetime エラーの検出 (EYE:SD)	67
Falltime エラーの検出 (EYE:SD)	68
Deltatime エラーの検出 (EYE:SD)	69
Timing ジッタエラーの検出 (EYE:SD)	70
Current ジッタエラーの検出 (EYE:SD)	71

3.5.3 Variable Binding List

● index 1

OID : leader(20111).lv5800(10).lv5800ST1(1).trapTBL(9).trapStrTBL(1).1.0
 Syntax : Counter
 範囲 : 1~4294967295 (範囲を超えた場合はオーバーフローする)
 内容 : 起動してからの Enterprise Trap の送出累計数

● index 2

OID : leader(20111).lv5800(10).lv5800ST1(1).trapTBL(9).trapStrTBL(1).2.0
 Syntax : Octet String
 範囲 : 最大 40 文字
 内容 : エラー発生時の日時と回線情報
 例) 2007/07/02 11:30:11 1, A
 YYYY/MM/DD hh:mm:ss mod, sdi
 YYYY = 年、MM = 月、DD = 日、hh = 時、mm = 分、ss = 秒、
 mod = ユニット番号 (1~4)、sdi = 入力チャンネル (AorB)

● index 3

OID : leader(20111).lv5800(10).lv5800ST1(1).trapTBL(9).trapStrTBL(1).3.0
 Syntax : Octet String
 範囲 : 最大 40 文字
 内容 : フォーマット情報 (次頁「TRAP 用フォーマット情報一覧表」参照)
 例) 1080sF/30

● index 4

OID : leader(20111).lv5800(10).lv5800ST1(1).trapTBL(9).trapStrTBL(1).4.0
 Syntax : Octet String
 範囲 : 最大 40 文字
 内容 : エラー情報 (次頁「TRAP 用エラー情報一覧表」参照)
 例) TRS_P_ERR

● index 5

OID : leader(20111).lv5800(10).lv5800ST1(1).trapTBL(9).trapStrTBL(1).5.0
 Syntax : INTEGER
 範囲 : 1~4294967295 (m)
 内容 : エラー検出時の線長計情報

※ 等価線長計エラーの検出、等価線長計ウォーニングの検出のみに添付

TRAP 用フォーマット情報一覧表

書式	フォーマット
1080i/60	1080i/60
1080sF/30	1080sF/30
1080i/59.94	1080i/59.94
1080sF/29.97	1080sF/29.97
1080i/50	1080i/50
1080sF/25	1080sF/25
1080sF/24	1080sF/24
1080sF/23.98	1080sF/23.98
1080p/60	1080p/60
1080p/59.94	1080p/59.94
1080p/50	1080p/50
1080p/30	1080p/30
1080p/29.97	1080p/29.97
1080p/25	1080p/25
1080p/24	1080p/24
1080p/23.98	1080p/23.98
720p/60	720p/60
720p/59.94	720p/59.94
720p/50	720p/50
720p/30	720p/30
720p/29.97	720p/29.97
720p/25	720p/25
720p/24	720p/24
720p/23.98	720p/23.98
525i/59.94	525i/59.94
625i/50	625i/50
UnKnown	UnKnown
NO_SIGNAL	NO SIGNAL

TRAP 用エラー情報一覧表

書式	内容
CRC_Y_ERR	CRC エラーの検出 (LUMA)
CRC_C_ERR	CRC エラーの検出 (CHROMA)
EDH_ERR	EDH エラーの検出
TRS_P_ERR	TRS エラーの検出 (POS)
TRS_C_ERR	TRS エラーの検出 (CODE)
ILLEGAL_ERR	リザーブドエリアエラーの検出
LINE_ERR	ラインナンバーエラーの検出
CABLE_ERR	等価線長計エラーの検出
CABLE_WAR	等価線長計ウォーニングの検出
CHK_ERR	チェックサムエラーの検出
PRTY_ERR	パリティエラーの検出
GMUT_ERR	ガマットエラーの検出
CGMUT_ERR	コンポジットガマットエラーの検出
LVL_L_ERR	レベルエラーの検出 (LUMA)
LVL_C_ERR	レベルエラーの検出 (CHROMA)
FRZ_ERR	フリーズエラーの検出
BLK_ERR	ブラックアウトエラーの検出
BCH_ERR	BCH エラーの検出
A_PRTY_ERR	パリティエラーの検出 (AUDIO)
A_DBN_ERR	DBN エラーの検出 (AUDIO)
A_INH_ERR	INH エラーの検出 (AUDIO)
EYE_HD_AMP_ERR	振幅エラーの検出 (EYE:HD)
EYE_HD_TR_ERR	Risetime エラーの検出 (EYE:HD)
EYE_HD_TF_ERR	Falltime エラーの検出 (EYE:HD)
EYE_HD_TR_TF_ERR	Deltatime エラーの検出 (EYE:HD)
EYE_HD_T_JIT_ERR	Timing ジッタエラーの検出 (EYE:HD)
EYE_HD_A_JIT_ERR	Current ジッタエラーの検出 (EYE:HD)
EYE_SD_AMP_ERR	振幅エラーの検出 (EYE:SD)
EYE_SD_TR_ERR	Risetime エラーの検出 (EYE:SD)
EYE_SD_TR_TF_ERR	Deltatime エラーの検出 (EYE:SD)
EYE_SD_T_JIT_ERR	Timing ジッタエラーの検出 (EYE:SD)
EYE_SD_A_JIT_ERR	Current ジッタエラーの検出 (EYE:SD)
SDI_DELAY_ERR	SDI DELAY エラーの検出
FAN_STOP	FAN 停止の検出

4. ファームウェアの変更履歴

本書は以下のファームウェアバージョンに基づいて作成されています。

- Ver 1.1 (LV 5800A)
- Ver 11.0 (LV 5800)

バージョンを確認するには、**SYS** → **F・5** SYSTEM INFORMATION の順にキーを押してください。

- Ver 5.5 (LV 5800)
 - LV 58SER01(A)の新機能について、Telnet/SNMP に対応。
- Ver 5.4 (LV 5800)
 - LV 58SER01(A)、LV 58SER04、LV 58SER40A の新機能について、Telnet/SNMP に対応。
- Ver 4.7 (LV 5800)
 - LV 58SER01(A)、LV 58SER03、LV 58SER04 の新機能について、Telnet/SNMP に対応。
- Ver 3.7 (LV 5800)
 - LV 5800 の新機能、LV 58SER04、LV 58SER40A について、Telnet/SNMP に対応。
- Ver 3.4 (LV 5800)
 - LV 5800 の新機能について、Telnet/SNMP に対応。
- Ver 3.1 (LV 5800)
 - LV 5800 にて Telnet 機能追加。
 - LV 5800 にて SNMP 機能追加。

リーダ一電子株式会社 <http://www.leader.co.jp>

本社・国内営業部 〒223-8505 横浜市港北区綱島東 2-6-33 (045) 541-2122 (代表)